



tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

1月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

寒さで、体調最悪

2007,1,29



どういわけか、本日の朝は、激寒

朝方、寒さで目が覚めてしまった。

タイの温度差に敏感になってきた自分を感じる。

以前は、信じられないくらい暑い・非常に暑い・とにかく蒸し暑い……って思っていたけど、最近
は、寒いときは、「一発で風邪をひく寒さ」とでも言えるかもしれない。

事実、今、熱がある。

早く帰って、寝ようっと。

ちなみに、具合が悪くなった原因は、寒さと、昨日食べたスパゲティーであると推測される。クリーム系
の食事が急に食べたくなり、ペペロンちゃんを注文。

あまりの脂っこさに、2口でとまったが、「洋食は、結構、高級な料理」であり、もったいないお化けが
頭をよぎって、「無理やり食べた。押し込んだ。」

若いときは、暴飲暴食・無理やり押し込んでも、何とか吸収してくれたような気がするが、40歳の声を
聞くと、「嫌なものは嫌で、身体が、拒絶反応する。」という感じである。

日本生活、食べ物のバリエーションが多かった気がするが、タイ生活、食べ物の範囲が極端に狭まっている
気がする。

ハード・ワーク

2007,1,28



仕事が忙しい日々が続いている。
 帰宅も、職場を出るのが、8時ごろ。
 12時間は、工場に居ることになる。
 仕事をすると、結局は、「タイだから、楽だ。」とかいう訳ではない。
 日系企業で働く限り、コテコテの日本人社会だからである。
 職場移動が3箇所目となり、「過去のケツ拭きばかりさせられている。」という不満がぬぐいきれない
 が、「それだけの給料を支払っている。」と言われれば、言い返す言葉も、不満をいうこともできまい。
 正直、「そろそろ綺麗になったから、もう少しで楽できる。エヘヘ・・・」って思っていたら、「じゃ、
 次は、ここを掃除して・・・」って、散らかった部屋に放り込まれる。
 そんな気がして仕方がない。

今度こそ、最後の仕事である。
 ここを綺麗にしたら、行く先は・・・と不安半分と「楽できる。」という期待とが入り混じる。
 日系企業・・・さすがに、高給を支払って、楽な仕事をさせてくれるわけも無く、責任が重くのしか
 かってくる。

早く目標金額を貯金して、お気楽商売をしたいと思うが、そんな簡単にいかないであろう。



変な欲求

2007,1,27



お金が使いたくて仕方が無い。」
 いやみにしか聞こえない言葉の気がするが、平日は、本当に実感する。

田舎で一時販売していたダイエットビールは、売れ行きが悪いのか、一切、見なくなった。
 ということは、酒は、土日に、パタヤで買いため。
 田舎に帰ると、ワーカーに見つからないように、「外出禁止」である。
 一歩も出ない生活。
 夕食は、袋に入ったおかずや、箱に入ったものがほとんど。
 ビールに入れる氷は、1袋5パーツ-6パーツ。

田舎に居る場合、1日に使うお金と言うのは、100パーツ程度である。
 たまに、ダムさんの友人と食事に行ったり、信じられないくらいのポッタクリの日本食屋に行くのが、大
 金を使うといった話となる。(お客は一人も見ることがないが、何故かつぶれない。しかも、驚くべき料
 金の日本食屋が、存在する。)

ちなみに、土日にガソリンも補給してくるので、平日は、ガソリンを給油する必要もない。
 土日に、パタヤに帰らずに、ここで2年ほど生活したら、あっという間に、2軒目のコンドが買えるって
 思うが、そんな生活はするつもりも無い。

話は、戻るが、「お金を使いたい。」って欲求が発生したことは、人生ではじめてである。
 物に満たされた生活をしていると、物欲と財布の中身を考え、ストレスを貯めてしまうかもしれないが、
 買い物をする場所が無い(事実、セブンイレブンも無く、いわゆる「よろずや」しかない。)
 貸しVCD屋は、僕には関係ないし、沢山並んでいる屋台を見て、「食欲がそそる」というわけでもない。
 買い物をする場所がない「お金を使いたい欲求。」
 その反動か、パタヤでの浪費はすごいものがある。

レストランでの食事・マッサージ・サウナ・・・旅行者並みの消費である。
 おまけに、一番の無駄使いは、外で飲むビール代。
 まあ、良しとしよう。
 それが、バランスを保つということでしょう。(笑)



ワン・デック

2007,1,13



ワンは、日という意味。デックは、子供の意味。

つまり、本日は、こどもの日である。

新聞の1面も子供一色。

街を歩いたら、おしゃれした子供がいっぱい。

タイの大人って、子供におめかしさせて、化粧させて、舞台上で躍らせるのが大好き。

まあ、日本でも、学芸会とかもあったが、七五三以外で、大人張りの洋服と化粧させている姿はあまり見ない気がする。

本日は、ドレス着て、化粧した子供をいっぱい見かけた。

TVで、「将来の夢は？」って子供に聞いていた。

学校の先生や医者、看護婦等、日本と同じ職種もあったが、意外にも多かったのは、「軍人」と言う言葉。

日本の子供は、「将来の夢は、自衛官」と何人が回答するだろうとふと思った。

あと、「プロ野球選手」等のスポーツ選手と答えた人も、タイではいなかった。

スポーツ=職業という意識はなく、スポーツ=娯楽なのかな？とふと思った。

ん・・・、もし、イサーンで聞いたらm「ムエイタイ選手」という回答もあったのかもしれない。

あくまで、ニュースの中の、ほんのひとコマですから・・・



みかんを食べる

2007,1,12



最近、よくみかんを食べる。

理由を3つ挙げてみる。

1.この時期、派手な果物が無い。

派手な果物という意味は、5月のライチやマンゴスチンという「南国でしか味わえない、日本では、非常に高価で、ありがたい果物」とでも解釈しましょう。

日本人にとって、みかんとバナナは、低価で地味な果物の分類であろう。

そりゃ、みかんとライチが、同じ価格で、並んで売られていたとしたら、迷わずライチを選ぶはずである。

この時期、果物屋に並んでいるのは、りんご・なし、スイカ、みかんである。

りんごも、なしも、日本の味・形を知っている人間にとっては、小さいし、味も薄いし、あまり魅力がない。(値段だけか?)

スイカは、年中見かけるから、丸ごと1個買おうという気にもなれず、消去法で、みかんというせんたくしになってしまう。

2.簡単に食べられる。

忙しいから、包丁取り出して、皮を剥くという作業が面倒くさい。

みかんは、道具を要しないという意味で、非常に魅力的である。

3.種のあるみかんに慣れた。

これが、一番の違和感だった。

日本では、種無しみかんは、当たり前。

タイランド、種ありみかんが当たり前。

種を出すと言う行為すら「面倒くさい行為」に思えてきた。
スイカなら、「種があるのは当たり前」と思えるが、みかんの種だけは、なぜか違和感が残っていた。
最近、種のある内側をガバット噛み、種を出した上で、残りの実を一気に食べるという手法？（食べ方）を覚えた。

ということで、僕の机の上には、いつもみかんが置かれている。
まあ、ビタミンC摂取ということで、良いですね。

冬は終わらない

2007,1,11



年末のような寒さは、過ぎ去った。
但し、朝晩は、寒い。
いまだに、毛布2枚の取り合いである。
エアコンはもちろん、扇風機も付けない生活が1ヶ月ほど続いているような気がする。
日本の友人に伝えても、本気にしないと思うが、「寒い」つて言葉をつい発してしまうタイランドの朝晩である。

外国人事業法改正

2007,1,10



朝のニュースで、「外国人投資家への影響・・・」「1年以内に株を売却。。。」「等の二ニュースを耳にしており、「また、変な法律が通ったかー」って思っていた。

まとめると、「外国人事業法」が改正され、株は、50%を超えて持ってはいけない。
議決権も50%を超えて、タイ人としなければいけない・・・ということらしい。

前から、外国人持ち株率は、49%以下だった気がするが、よく考えてみれば、設立のときは、名前を借りて、タイ人を51%以上にしておいて、会社設立してすぐに、買戻すというやり方が一般的な気がする。

なんか、「お金は出せども、口は出すな」みたいな政策で、ほとんど呆れているが、株価も下落しているようだし、タイの経済、どうなるの？って感じです。

去年の末から、「何かがおかしい」をずーっと感じている。

パタヤに淫乱サウナ新登場

2007,1,6



パタヤに淫乱サウナが開店した。
 サウスパタヤからジウムティアンビーチまで行く途中の道 (THAPPRAYA ROAD) のソイ 1 1 を入っていく。
 SANSUKというサウナ www.sansukpattaya.com
 パタヤという場所柄、正統派サウナは、無いものだと思ってきたし、無いことが当たり前だと思ってきた。
 普通のゲイがめぐり合う・・・なんて、綺麗な場所柄ではない。
 はっきり言って、売った・買った・・・その中で、金持ち外人を見つける = 宝くじに当たる為に、がんばっている・・・そんな街であると思う。

さて、早速の情報です。
 料金は、180バーツ。土曜の20時ごろ・・・ファラン15人とタイ人6人というのが、客の総数かな。
 設備だが、プールは、新しく綺麗。だけど、狭くて、泳ぐと言う感じではない。
 プールの傍にジャグジーがあるが、残念ながら水ジャグジー。
 サウナは、ファランの出入りが烈しく、なかなか温度が上がらない。
 「出たり入ったりすんなー」って怒鳴りたい気分。
 フィットネスも一応あるが、ショボイ。
 発展場スペースは、広々しているし、海の傍だから空気も気持ち良い。

バンコクのサウナよりも、「とりあえず、誰でも、手を出してみる。」という感じが強い。
 さすが、Hの街、パタヤ。
 ファランも、タイ人も、よく手を出してくる。
 サウナだけを入りに行くのも、ちと、施設に物足らず、「友人と、プールサイドで、おしゃべり」する場所としては使えるかもしれない。

年齢にこだわらなかつたら、ここで、「売春・アルコール商売に無関係な、一般のゲイと友人になりたい」とは思うが・・・。」
 いずれにしても、選択肢の一つとして増えたことは、ありがたいことである。



組織に属さない生き方

2007,1,4



新年の日記で、「起業」について書いたが、「タイ化した」とつくづく感じる。
 日本で生活していれば、「会社員であることが一番良い。」と思っていたと思う。
 約束された毎月の月給、厚生年金の積立、ボーナス・・・自営業と会社員を比較した場合、「会社員が良い。(しかも、一流会社の)」と言う教育を受けてきた又は洗脳されてきたからだと思う。

タイ人の場合、とにかく起業したがる傾向にある。
 起業と言っても、リヤカーを引いて、10バーツの果物売る商売から、大きなお店を構えてビジネスをするという人から、階級に応じて、さまざまである。
 10バーツや20バーツの食べ物売って、材料費を支払って、いくら手元に残るのか？は、非常に謎であるが、生活ができる稼ぎがあることは確かである。
 しかし、美味しく、客が良く入っている店は、すぐに車と家を買えるのではないかと、言う商売をしている店もある。

いずれにしても、タイの場合、独立して商売をやりたいという人が圧倒的多数を占めているような気がする。
 つまり、会社員を続ける人又は、組織に属することに幸せを感じる人は、少数派で、自分で独立し、又は、家族の家業(農業含む)をしている人、希望する人が、ほとんどを占めるように思う。
 大学を卒業して、銀行に勤めて、数年後に辞めて、洋服を売っている人、自分の会社でも、若くして係長まで出世したのに、レストランを開業するという事で、退社する人など、僕の周りにも、沢山いる。

ダムさんの仲の良い友人数人の中でも、洋服を売る店を出している人が2人も居る。(ちなみに、大卒)

会社員が嫌だと言うか、雇われが嫌だと言う主張があるようである。

この国、お金を支払う人間が、非常に強い。

ましてや、雇用関係となると、まさに、奴隷のようである。

雇用する側とされる側には、圧倒的立場の差がある。

時間又は相手の能力を売った・買ったという意識はないのかもしれない。

今年に入ってから、「盲人マッサージ屋開業」のことが、頭から離れない。

いやいや、この収入は捨てちゃいかん・・・と思いつつ、月曜の朝に、5時半に目覚ましかけて、6時に家を出る生活を、「こんな生活嫌じゃーー」って思いたくもなる。

今は、貯金のする時期で、ずっと経済が悪くなるのを待つ。

「どかっと経済が悪くなり、人々が、物をたたき売りする時代になったら、開店の時。」って密かに考えているのである。



夢か？妄想か？我がままか？

2007,1,2



年が明けたので、今年目標とやらを考えてみた。

目標を考えたら、夢ということにつながってしまった。

夢と言えば、聞こえはいいが、「妄想」と言われても仕方が無い。

四捨五入して40歳の大台の自分が、「将来の夢」なんて、語れること自体、幸せかもしれない。

当面の目標は、「だらけた生活態度を見直す。」・・・この一言に尽きる。

田舎生活、何もやる事が無いという理由をつけて、浴びるほど飲み続ける毎日のビール。

低カロリーのピアシン・ライトを愛飲しているとはいえ、量が大量ならば、低カロリーの意味が無い。

二日酔いぐらいのことなら、特別に問題とはしないが、30代も後半となってきたら、「糖尿病」とかも気になる。

浴びるほどのアルコール=カロリー過剰摂取は、成人病の原因。

だらけた生活態度を正すという気持ちには、まだ、くたばりたくないという気持ちの他に、「将来の夢」ができたことも一つの理由である。

タイ化してしまったのかもしれないが、「起業したい」と切に思うようになってきた。

会社に所属するのが、ほとんど嫌に思えて仕方が無い。

会社に所属して、決った月給をもらうのは、魅力ではあるが、組織である以上、「従う」ことが仕事であり、疲れるのも事実である。

自分で思い通りに・好きにやりたいと思う。

起業というのは、大げさで、最近、「盲人マッサージの店を経営したい」と思ってきた。

会社を設立してしまえば、盲人マッサージだけでなく、翻訳などの副業も可能である。

低カロリー健康食品のおかずやなんかも興味あるが、盲人マッサージに比べると、需要があるかどうかは分からない。

国が、発展すればするほど、薄味となり、健康志向が強まる。

今のタイに、そんな需要があるかどうかは、不明。

盲人マッサージは、「他店との差別化をはかる」ことと、「マッサージ師の教育をきちんとすること」と、「在住ファランの多い地区で開店すること」で、ある程度の集客は、見込める。・・・と知っている。

但し、大儲けは不可能であるし、今の給料収入を維持するとしたら、10人程度の店では無理であり、30人以上のマッサージ師を抱え、1日に6時間以上、マッサージ師に仕事があるほどの集客がなくてはならない。そこまでは、ちょっと自信はない。

自分で食べていけるほどの収入と起業することで、労働許可書の取得が可能であるということが魅力である。

以前から、「早期リタイヤ」という言葉をよく発していたが、言葉を変えて、「食べていくくらいの収入

のあるお店を持ち、自分は、管理するだけで、あくせく働くことをしない生活。」という風に言葉を変えて、僕の40歳を過ぎた生き方としたいと思う。

「会社という組織に属さない生活」というのが、理想なのかもしれないと思う。

「お金」と「自由」のバランスと選択は、非常に難しい。

パーツのお金ができたら、会社を設立し、タウンハウスを2件（隣同士）借りて、10人の盲人マッサージと2人の掃除（お世話する）おばちゃんと受付兼事務のちょっと優秀な子を雇用し、盲人マッサージを開くと言うのが、40歳に向けての夢である。

その前に、なくてはならないものがある。「お金」である。

幸いなことに、日本にも、タイにも住む場所が確保できて、車もあるし、借金も無い。今は、高収入である。

今が、貯金のチャンスだとは、十分に理解はしているが、「何で、こんなに使っているの？」っていう月末収支の生活。

「怠惰な生活にピリオドを打つ」のが、当面の目標で、その後、「夢に向かって貯金する」というのが、第二ステップで、第三ステップは、「盲人マッサージ開業」といきたいものであるが、思うようにいくだろうか？

果たして、妄想だけか？現実には、会社に属して、組織に属して働く方が、安定しているのか？

色々と考えてしまう。



新年は、チャーン島で・・・

2007,1,1



新年は、朝6時におきて、チャーン島へ出発した。

チャーン島での正月は、多分3回目だと思う。

正月以外でも、会社の旅行とかも含めると、6回目か7回目になると思う。

何故、チャーン島に来ちゃうかといえば、とにかく、移動が楽なのだ。

車に、洋服積んで（バックではなく、洗濯籠）パタヤ発 船着場まで4時間ほど 車ごとフェリー乗船 ホテルまでそのまま車

しかも、島なので、あちこちに道があるわけなく、海岸沿いの道一本。

ビーチの名前を聞けば、大体の場所は、把握できる。

プーケットやサムイも行きたいが、飛行機での移動を考えると、ちょっと腰が引ける。

今回の目的は、ダイビングと休息。

ダイビングは、パタヤ在住だから、「いつでもやれる。」とは思っているが、さすがに、パタヤの海には潜る気もしない。

チャーン島までくると、やはり綺麗な海である。

但し、タオ島には、及ばないと思う。

今回のダイビングツアーは、はじめて、モーターボートのツアーだった。

確かに、早いので、移動時間は少ない。しかし、目的地に到着後、エンジンを止めたら最悪。小さい船 = ゆれが烈しい。

走っている時は、なんともないが、止まった途端、目眩がする。

ゆれを体感することで、何故か「海って怖い」って思ってしまった。

スピードボートのツアーの為、移動時間は、ほんの20 - 30分。

トイレもないボートという理由もあり、昼食は、無人島で休憩。

こういうときの、ファランはすごい・・・バスタオル敷いて、日焼けタイム。

タイ人船員も、昼食後に、適当な木を見つけて、昼寝体制。

僕だけが、どうやって過ごそうーって考えちゃう。

何もない贅沢にあこがれる割に、いざ、何もないところに連れてこられると、どうしてよいのか分からない・・・そんな感じ。

昼飯も、カーウクロン（発砲スチロールに入った、タイ式ほか弁？）とパイナップルという質素な食べ物だった。

僕の中では、ちょっと変わったダイビングツアーだった気がする。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

2月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28			

美味しいパン

2007,2,28



やまぎきのパンにはまっている。
元々、パンは、好きなほうではなく、「時間のないとき」「面倒くさいとき」に食べる程度の食べ物であった。
タイに来てから、パン食は、ますます縁遠くなっていた。

コンビニなんかで、気軽にパンは販売している。
例外にもれず、「甘い」のである。
クリームがたっぷりぬってあったり、パン生地自体も、やたらに甘いような気がして、どうも好きではなかった。

タイにも、ちゃんとしたパン屋は、存在する。
デパートの中に入居している場合が多い。
日系では、山崎パンも、デパートや大型スーパーマーケットに入っているが、実は、タイに来て5 - 6年経つが、買った記憶がない。
それだけ、興味がないものだったのである。
時間がないとき、ご飯が食べられないときに、仕方なしに買うものがパンであり、デパートの山崎パンを買う意味がないのである。
デパートの中でおなかを空せば、クーポンレストランやMKや日本食富士もある。

タイでは、何処に行っても屋台があるので、食べ物にあぶれない。
日本ですんで居たときは、パンは、「非常食」的存在であり、卵や牛乳と同じ部類で、取りあえず、かごに入れちゃう商品だった気がする。でも、今は、そんな必要もない。

で、山崎パンのパンを1ヶ月前に初めて購入した。

あまりの美味しさに驚きである。

というか、徐々に、「日本のパンを食べた」気がした。

日本のパンと、タイのコンビニパンと何処が違うかと言えば、非常に説明が難しいが・・・

「これなら、食べたいと思う。」というのが、本音である。

それ以来、毎週、山崎のパンを買うのを楽しみにするようになった。

僕が知る限り、山崎パンが入居しているのは、パタヤ北のロータスだけである。

山崎パンの為に、北ロータスで買い物をするのが、すっかり日課となってしまった。

僕は、ゴマがいっぱい入ったパンやレーズンパンを買う。

ダムさんは、チョコレートが山ほどぶっかったチョコレートパンを購入。

どうも、高いもの・高級なものを食べさせても、無駄な気がして仕方がない。

だって、日本食屋でラーメン頼めば、「トムヤムラーメン」だし、日本食屋で「とうがらしの山ほどかかったツナサラダ」のファンになるし、山崎パンでは、「チョコレートパン」

タイ料理に関しては、「この店は、美味しい」「この店は、美味しくない」という舌の意見は、ほぼ、一致している。

但し、タイ料理以外の食べ物となると、全く意見がかみ合わない。

まあ、何年かかっても、これだけは、一致することはないのであろうと思っている。



日本人へのストレス

2007,2,27



タイ関係の掲示板を見ると、現地採用日本人の悪口や見下したような書き込みが非常に多い。僕も、タイにやってきて、仕事を探した身であるから、非常に不愉快であると思っていた。

ところが、最近は、全く見方が違う。

と言うのも、タイへ会社の意思ではなく、本人の意思でやってきている日本人は、奇人・変人が多いと思う。(僕も含めて?)

バンコクではあまり感じなかったが、地方で自分の意思で働いている日本人は、その傾向が強いと思う。

日本で働いているときは、全く感じなかったが、こっちに来て、しかも、地方に勤務して、「こいつは、嫌なやつだなー。」「こいつが居るんなら、辞めよう。」って考えてしまうくらい嫌な日本人が非常に多い。

だから、日本人にストレスを感じている。

「何様?」って人が非常に多すぎる。

考えてみれば、日本では、ひょっとしたら社会の一員として認められないであろう人までもが、タイでは、かなりのポジションとお金を得て働いている。

「いい気になっている・・・」という言い方をして、間違えではない人間が多い。

例え、日本で使い物にならない人間でも、この国では、日本人と言うだけで、ある一定の価値が存在するのである。

しかし、日本人社会で生きるからこそ、日本人の価値があるのである。

現地の会社で、日本との関係など全く気にしない会社では、日本人の価値は、存在しない。

タイ人を安く雇ったほうが良いに決まっている。

タイ国、日系社会だからこそ、価値があるのである。

自分が、奇人・変人となったのか、周りが奇人・変人なのかは、「鶏が先か、卵が先かの議論となってしまう・・・」

狭-----い、日本人社会だからこそということも含めて、日本人にストレスを感じる毎日である。



90日ビザ

2007,2,26



ダムさんのビザが下りた。
 今年は、書類提出時は、ダムさんは行かず、受け取りの際に行っただけである。
 1度行って、約束どおりの期間に戻ってきたと言う実績にかなうものはない。
 去年は、初めてのビザだったので、15日しか、滞在が許可されなかった。
 今年は、堂々の90日である。
 (実際は、1週間のビザでも問題のない滞在期間であるが・・・)
 会社の女の子も一緒に行くのだが、その子も、何の問題もなくビザが許可された。

タイ人を日本に連れて行く際のビザの苦労話は、あちこちで目にするが、申し訳ないが、階級社会を実感してしまう。
 ゴーゴーっ子は、IDカードと住居証明以外の証明書は、何も無いであろう。
 会社の在職証明書・給料証明・納税証明・・・は、やはり強いと思う。

「人類・皆・平等」なんて言ったら、この国では馬鹿にされるのかもしれない。
 はっきりとした階級があるわけではない。
 あんたは、貧乏階級だから・・・なんて、誰も言わない。
 しかし、見えないところにあるからこそ、ずっしりと重みがある。

ちなみに、ダムさんの弟(ゲイ)は、彼氏に溺れて、一日中、何もしなくなった。(家の手伝いをしなくなった。)見かねたばあさんは、二人を家から追い出した。
 行く当てもなく、畑の真ん中で、ごさを並べて、二人で寝ている。
 可愛そうだと思うが、家に入れたら、同じことの繰り返しだから、どっかで働く気になるまで知らん振りするそうである。
 ちなみに、この弟、小学校しか出ておらず。
 一度も、会社で働いたことなく、家の手伝いとガソリンスタンド(給料3千バーツ・休みなし)しか仕事の経験はなし。
 同じ兄弟・家族でも、教育の違い・階級の違いを実感。

この国で、幸せになるのなら、ある程度の階級 = ある程度のゆとり = 金である。



警察だらけ

2007,2,25



ロシア人女性2人が、海岸のチェアーをめぐる争いで、バイクに乗った男に撃たれ、殺されたいらしい。そんな事件があったからか、ジョムティアン沿いは、警察でいっぱい。
 スニーっ子を後ろに乗せ、ノーヘルで、ハイネケンが少し入った状態で、運転していたもんだから大変。急いで、進路変更し、事なきを得る。

それにしても、パタヤでは、殺人・強盗が毎日のように起こっている。
 渋滞だなーって思うと、ファランが道端で、血だらけで死んでいたのを目撃したこともある。(交通事故)

エロの街・・・パタヤ・・・欲望と金と、騙した・・・とで、人間模様が複雑であろう。しかも、この街に来て、頭に血が上っているおっさんも沢山居る。

すごく、治安の悪い街に住んでいると思う。
 観光地であることを考えると、それほど大きく報道されることは、ないように思うが、
 バンコクに居たときの数倍の確率で、殺人・強盗・事故を目の当たりに目撃している気がする。

そんなわけで、KAOSのいつもの子で我慢した。
なんとなく、新しい子は、性格も分からないし・・・この子なら、殺されることもなかるう・・・って子である。



50SQM 6,500,000パーツなり

2007,2,24



パタヤに90階建てのコンドが出来ると噂は、ご存知でしょうか？
パンフもらってきたけど、名前は忘れまして。
確か、ジヨムティアンのソイ5って書いてあった気がする。
1スクエアメートル当り、130,000パーツ。(スタジオの場合)
50スクエアメートルで、6,500,000パーツというのが、一番小さなスタジオの値段。
例外にもれず、前払い方式で、予約金のほか、毎月108,000パーツを支払っていく。
最後に、20%分を支払えば、晴れて自分のものである。

さて、90階建てが果たして出来るかどうか？(建設する技術があるかどうか)自体が問題である。
申し訳ないが、どんな立派なゼネコンが建てるのかしらないが、現場で働く実際の方は・・・って考えると、大丈夫？って言わざるを得ない。

確かに、90階とは、すごい。夢のようである。
しかし、それに投資するには、よほど、金が余っていない限り、「冒険」であると思ってしまう。



電気の件

2007,2,21



電気の件で、まだ、ぐずぐずしている。
つまり、まだ、開通していない。
お金を払っていないから、電気を止めることは、早い。
しかし、お金を支払ったからといって、すぐに復旧してくれるはずもない。
まずは、「メーターの番号を教えてください。」と言ってきた。
お陰で、平日に、パタヤまで支払い済みの領収書を探しに帰った。
で、領収書に書いてある、番号を伝えしたが、予想通り、電気はつなげてくれなかった。
仕方なく、今週末も、公共スペースの電気を泥棒する羽目になった。

この国では、「ちょっとしたトラブルを解決する為に、異常なエネルギーを必要とされる。
なんとなく、生活すること自体に苦労が少なくなってきた感じがして、サバ-イになってきている。国
が変わったというよりも、自分が慣れたと言ったほうが早いのかもかもしれない。ちょっとしたトラブルを解
決する為に使わなければいけない無駄なエネルギーについて、考えさせられた事件である。

部下のタイ人があっさり辞めると言い出した。
社長がすごく可愛がってきた子だったので、僕よりも社長がショックだったらしい。
僕は、スタッフレベルは、辞たいなら辞めたほうが良いと思っている。
誰がやっても、大きな問題はないと思う。
大切なのは、中堅のタイ人スタッフであり、そのスタッフを管理するタイ人である。
この大きな幹さえ、押さえておけば、誰が辞めても大丈夫・・・そんなタイランド。

社長は、「この子は、性格が良い。」とか言って、いろんなものを買ってあげ、実家にまでお邪魔している。
「恩知らず」とは、まさに、このことであるが、タイ人からすると、「給料が良い会社が見つかったか
ら・・・」というのが、正当な理由であり、お世話になったも何も無い。

転職理由として「新しい仕事が見つかった」と言って、次の日から来ない人が特別な人ではない。不思議

の国。

で、後任をインターネットで募集したら、たった1日で、ものすごい数の履歴書が集まる。

皆、今の暮らし・現在の給料に満足していないようである。

しかし、1名の募集に対して、これだけの数の人間が応募するわけで、宝くじにでも買うように、履歴書を送り続けている人も多いような気がする。

大体が、今の給料の2-3割り増しの給料が希望給料であるが、なるほど、年末の5%前後の昇給を待つよりも、経験と言う武器を身につけ、さっさと新しい会社を探したほうが、給料はどんどん上がっていく。

男女の関係や友人との関係も、「金の切れ目が縁の切れ目」とよく言われるが、会社と従業員との関係も、「金の切れ目が縁の切れ目である。」

はっきりした国であるが、転職の国であるからこそ、一人に全部を任せるのではなく、複数で分散し、一人分の給料は安くという社会構造が成り立っている。

また、タイ人の就業年数は、非常に短い。

日本人のように、25年・30年とサラリーマンを定年まで続ける人は、非常に少ない。

大部分は、実家に帰り、農業をするか、お金を貯めて、事業をするのである。

事業と言っても、屋台から上は・・・さまざまなので、誰もが実現できることである。

就業年数が短いと言うのは、これだけ短期間で、給料を上げたら、行き着くところがないからである。

給料と見合った能力を有する30代のタイ人は少ない。

当然、30代になれば、転職が、バタツト難しくなるという現実もある。

20代が、転職のチャンスであることは、間違いない。

会社という組織に属す以上、サバライな事はなく、嫌なこと・我慢することが多い。

日本人は、仕事の面白さ・やりがいなどと仕事を美化し、なんとなくごまかしているようなきもする。やはり、「金もらう以上、楽なわけない。」というのが、正しいであろう。

どうせ、大変ならば、「お金がいっぱいもらえるところが言いに決まっている」のである。

タイに来て、6年目になるのかな？

やはり、サバライな人は、「お金を持っている人であると思う。」

日本では、「金で幸せは買えない」というが、「金で幸せは、買えない」のも事実だが、「金がなければ、何も買えない。」というのも事実である。

食べるお金の心配がない。親戚・友人とお金のことでもめない。もっと分かりやすく言えば、借りた・返さないでもめてないタイ人は、どのくらい存在するのだろうか。

給料がアップすれば、周りの期待も高まる。

周りの期待とは、「仕送りして欲しい。」「毎月、実家に帰って欲しい(お金を持って)。」「急な出費の際に、貸して欲しい。」ということである。

結局は、人生、楽じゃないって事ですね。



驚いたこと

2007,2,10



タイ在住も長くなったので、日々の生活の中で、特別に驚くことなどは少なくなった気がする。ところが、先日、ここが外国であることをまざまざと痛感させられるような事件があった。

電気・水道と言え、ライフ・ラインとも言われ、日本では、多少、支払が遅延しても電気が止められたり、水道が止められたりすることは、少ないと考えて良いであろう。督促通知（ピンクの紙でくるような記憶があるが・・・）が何度も届くシステムになっている気がする。しかし、タイランド・・・支払期限が過ぎたら、7日後には止まるのである。

電気代の請求は、バーコード付で送付されてくる。それをコンビニに持参すれば、指定の期限までなら、コンビニで支払える。アパートに住んでいた時は、家賃と一緒に支払うので、アパートの請求金額どおりに家賃の支払の際に支払っていた。コンドを購入し、電気会社から直接請求がくるようになってからは、コンビニで支払いをしてきた。しかし、1月31日の支払期限内に支払うことをすっかり忘れていた。で、2月の9日に仕事を終え、「週末パタヤ」の為、笑顔で帰宅したところ、「停電」あれ、おかしいな……。エレベーターに乗ってきたし、廊下に電気が付いている……。そんな状態でも、「まさか……。停められているはずがない。」という思い。思い出したかのように、電気料金の請求書を見て、「支払期限後、7日以内に支払を確認できなかった場合は、電気を止めます」という文書を発見。それでも、信じられない。このコンドに住んでいて、たった100パーツの支払が遅れただけで、7日後に、電気が停止なんて……。確かに、支払期日以内に、払っていないのは、事実である。でも、電気でっせ……。電気。

とりあえず、電力会社へ行こう……。ってバイクを飛ばした。しかし、電力会社は、お役所。5時で終わって、パタヤに帰って、電力会社に到着したのは、夜の7時。警備員の「5時で終わり。土日休み。」の声に、がっくり。

しかし、ここからがタイランドである。金次第で、何でもあり……。というところである。コンドの修理人に電話をして、共有スペースの電気を部屋まで引いてくれる交渉に成功。もちろん、「感謝は、言葉ではなくお金である。」

「感謝は、言葉ではなくお金」というのは、すごく嫌な言い方に取られる場合もある。しかし、「ありがとう」って言われたって仕方ないわけ。「何かをやってもらえば、それは、対価が発生するのは当たり前である。」日本は、元々なんでも高いから、多少の付加サービスはすべて無料であるという意識が叩き込まれているような気がする。サービスは、無料だからサービスというのではなく、何かをしてあげるからサービスと言うわけである。



毎日のように、新空港とドンムアン（旧国際空港）のニュースを耳にしている。

新空港が、欠陥工事で、使えないとか、賄賂だらけだ・・・とか・・・

いろんな事情があり、ドンムアンとスアナプーム新空港の二つを国際空港として利用することが決定されたらしい。

国際空港が、バンコク周辺に2つあるというのは、紛らわしいと思うのは、僕だけだろうか？

旅なれた人間（タイを良く知る人間）ならば、ドンムアンとスアナプーム新空港の地理も事情も良く分かっていると思うが、「タイへ行くよ---。初めてだから空港まで迎えに来てね---。」という方なら、「どっちの空港へ着くの？」って聞かれても、返答に困るかもしれない。

事情は理解するが、とにかく「国の玄関」なのだから、誰もでに「分かりやすく」「間違えないように」してもらいたいと願うばかりである。

それにしても、政治といい、国際空港といい、年末のテロといい、タイ国立銀行の政策といい、外国人事業法の改正といい、最近のタイランドは、国際的信頼度を著しく低下させる事件ばかり起こしている気がする。

普通の生活を送っている人間は、全く気にもしないことのような感じもするが、外国人として、アンテナをちょっと張ると、「国際的信頼度低下」を肌で感じざるを得ない。



再び、日本へ・・・2ヵ月後

2007,2,5



今年も、ダムさんの日本行きの季節が近づいてきた。

今年も、ダムさんのチケットは、マイルージなので、無料チケットである。

その代わりに、もう一人会社の部下を連れて行く。

日本人一人、タイ人2人の旅である。

おまけに、帰りは、両親が訪タイするので、日本からタイは、5名となる。

12月に日本へ帰ったばかりなので、「帰りたい。」という気持ちはあまり無いし、国内旅行又は近隣諸国を旅行したいと思っはいるが・・・

カンボジアへの思いも強くなるばかりである。

国境までしか行ったことがない。

何年か前に行った国境の可愛い子が忘れられないが、アジアを旅慣れた人から聞くと、「スニーのような場所は、他にはない。」「安全・コスト・インフラを総合的に考えると、ここかな。」というような意見も良く聞く。

適切な意見だとも思うが、スニーじゃ、もはや、「感動」「新鮮」「ワクワク・ドキドキ」は、皆無である。

風邪が完治しない。

寒さが続いているからである。

しかし、やっこのことではあるが、暖かくなりつつある予感。



ダイエット2キロ

2007,2,4



薬と言うのは、本当に怖いと思う。

タイの薬を飲んだら、ボケーっとして1日仕事にならない。

(風邪薬の場合、当たり前のもすが・・・)

咳止め、解熱剤であるが、めちゃくちゃ強いような気がする。

しかも、朝は、薬を飲んでいないので、昨夜の薬が、次の日の夕方まで、眠気を継続させていることになる。

いやはや、恐ろしいと思う。

けだるい感じと、「大あくび」の為、タイ人スタッフは、「笑っている」

しかし、僕自身は、一秒でも早く横になって休みたいと思う。

具合が悪く、ダムさんに薬を飲まされたら最後・・・ボケーっとなっているところへ、次の時間の薬と水を差し出され、自然と飲んでしまう。

さらに、ボケーっとなり・・・悪循環とは、まさにこのことである。

しかし、意外な効果が・・・体調不良の間、ビールを飲まない日々が続いた。

その結果、2キロの減量に成功したのである。

なんとなく、おなかまわりの肉が落ちた気がしていたが、「気のせいだろう。」と思っていた。久しぶりに見た「5 キロ代」の体重に、喜んでしまった。

たまには、病気でもしてみるものである。

[【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

3月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

予定よりも多い来客

2007,3,25



ダム家登場。

予定は、大人1人、子供2人だったが、到着すると、大人3人子供2人だった。

スタジオタイプの部屋に、僕も含めると7人で泊まると言うのは、僕の常識からするとあり得ない話であり、僕は、黙ってホテルに宿泊した。

「週末、やすらぐために購入したコンドがあるのに、何故、ホテルに泊まらなくてはならないんじゃないじゃー。」って怒りをあらわにするのも馬鹿らしく、「2週間、お好きにどうぞ。」です。その代わりに、「僕は、煩わしいので、一緒には、居ません。お付き合い程度の夕飯のみね。」っていうスタンス。

そりゃ、文句は言いたいが、言っても仕方ないとあきらめの境地である。

「今後の為に、やさしくしない。お金もあげない。」

ダムさんは、「たまにのことだ」とは言うが、人のコンドを「リゾート地」代わりに使用されたんじゃないとも思うのは、事実である。

また、所有者である自分が、ホテルに泊まったことをどう考えるのか？知りたかったが、「何とも思わない。」というのが、現実である。

ちなみに、お土産のひとつもなく。「家で取れたフルーツぐらい持って来いよー。」とってしまうが、これも、ぼやいても仕方ない。

まあ、この家族がいる限り、ダムさんは、大きな何か背負って生きていかなければならないようだ。

ちなみに、今年、中2になる甥っ子は、学業成績が良くないため、「学校に行かせても意味がないから、中学でたら、家を手伝わせる。」ことが決定。

これで、この子の将来は、「よほどの幸運がない限り、一生、中流以下が決定。」

不思議なのは、日本人の場合、損得勘定を考えずに、学校に進学させるような気がするが、タイの場合、学校に通わせるのは、明らかに投資である。

高学歴 = 高収入（とは限らないが、可能性は、グンと広がる）を信じ、投資をする。
 その証拠に、「私は、高い授業料の大学を出たから、高い給料をもらわなければいけない。」「この子に、学校行かせても、成績も悪く、ろくな就職口もないから行かせない。」と言う。
 「勉強ができないから、手に職を・・・」「何か一芸を・・・」「何か技術を・・・」
 というのではなく、「勉強ができないから、農家で良い。」という発想。
 うーん、正しいのかわからないが、90%以上の確率で、将来、お金の苦勞する生活を送ることが決定したとしたら、やっぱりなーんと思う。

自分たちは、農家で苦勞して、「農家なんて、大嫌い」と思っているも、子供に同じ苦勞をさせるんだから、不思議な国民だと思う。
 少なくとも、「お父さんは、行きたくても学校にいけなかったから、子供には、行かせたい。」という言葉は、タイではあまり聞いたことがない。

「貧乏の循環の法則」は、今回も曲がらなかった。

ちなみに、ダム家の学歴と現在の収入だが、ダムさんがだけが、ダントツで、一家の年収の半分が一ヶ月の収入である。

レズの双子の姉は、短大を出た後、2ヶ月ほど工場で働いたが、「やっていられずに退社」

ゲイの弟は、小卒。一時、3000パーツの賃金でガソリンスタンドで働いていたが、労働意欲なく、何もせずに、家でごろごろの生活。

甥っ子の中2が、今回の話で、農家跡継ぎ決定。

残るは、もう一人の弟だが、見る限り、勉強ができそうもないので、同じく、農家を継ぐのかもしれない。

「貧乏の循環」から一人脱出したダムさんだが、「タイ国、タンブン思想」のお陰で、浮上不可能な状況となっている。



タイの免許とは・・・

2007,3,24



ノーヘルで警察に捕まった。
 クソー、罰金かーで済めばよいが、なんと偶然にも、バイクの免許を忘れてきた。
 従って、実質的には、免許不携帯とノーヘル。
 堂々と、普通自動車免許を提出したが、警察官は、特に何も言わず、罰金の紙を書いている。
 もちろん、タイ語の免許書である。
 何も、言われず、交通切符を渡され、免許書（普通自動車の免許）没収。

で、夕食を取って、罰金を払いに行ったが、罰金を支払い、領収書はもらったが、免許が帰ってこない。
 捕まった時間を見て、「捕まった場所に行き、この領収書を見せて、免許を返してもらえ」と言われる。
 まったくーいい加減。
 一応、捕まった場所に行ったが、警察が同じ場所にいるはずもなく、翌日、警察署に再度行き、無事に、免許交換。

どうも、タイでは、免許というのは、大事なものではない気がする。
 少なくとも、ID CARDの方が、重要度が上だと思う。
 日本では、身分証明書代わりのものだが、タイでは、ID CARDがあるから、それほど重要なものではないような気がする。

だって、バイクの違反で捕まって、普通自動車免許出して、何も言わないんだから・・・



不穏な事件

2007,3,23



最近、不気味な事件が続く。
 情報を得ようとアンテナを張れば、張るほど、恐ろしい事件が多すぎる。
 恋愛のもつれで、刺した・刺された事件は、可愛いもんだと思う。
 最近のニュースで自分でも、守りきれない事件の一例を紹介したい。

長距離バスが、走行中に、煙を発生した。 乗客の「停車しろ」を振り切って、走行を続ける ブレーキが利かず そのままわき道に突っ込み炎上 乗客30人焼死

で、ラジオのニュースで、「運転手に教育をするよう義務づける」とか「教育」と言っているが、「運転手への教育ではなく、初等教育の徹底」でも義務付けてほしい。
 とは言っても、スニーでシンナー付けの餓鬼を見ると、こういう大人が、バスの運転手として働いていても不思議ではないと思う。

警察が、一般市民の腕を切り落とす。
 この国の警察のレベルは、何かと思う。
 一般市民でさえ、下っ端の警察は好きではない。
 実は、タイの場合、当然のように、軍と警察では、軍の方が強い。
 日本人も警察が好きだと言う人間は、居ないとは思いますが、タイ人も警察は嫌いだろう。

但し、この国の場合、まだまだ「役人が強い」傾向にある。
 善良な市民の腕を切り落とすなんて、「本当に近寄りたくない人たちである。」



埋まらない溝 その2

2007,3,20



タイ人との埋まらない溝の2つ目は、家族であろう。
 ちなみに、ダム家の人たちが、今週末から2週間、遊びに来る。
 2週間でっせー－－－－－－－－。
 理由は、「夏休みだから・・・」
 子供だけで行かせるわけにもいかず、大人の付き添いつき。
 で、パタヤに来るまでのバス代しかないのは見えていて、3食・遊び・帰りのバス代まですべてこちら負担。

「タイには、秘密はない」とよく言うが、「なぜ、コンドを買ったことを言うのか?」「なぜ、僕の給料を言うのか?」「なぜ、暮らしのレベルを言うのか?」分からない。
 一度呼べば、2度目も来るに決まっている。
 「夏休み、行くところがない。」とは言うが、以前は、何処も行かなかったはず。

家族が、大切なのは良いことではあるが、「一方的に頼られても困る。」というのが、本音である。

ちなみに、僕が、兄弟の家に行って、泊まるという選択肢もないし、僕の記憶の中では、おじさん、おばさん（僕の父や母の兄弟）が、何日も泊まったという記憶がない。
 遊びにくることは、しばしばあるし、冠婚葬祭時に、1泊だけ泊まることはあるが、何泊もしたという記憶もない。
 今の僕に置き換えても、成人し、結婚し、子供も家庭もある兄弟の家に行って、泊まるという選択肢もない。多分、ホテルに泊まると思う。

その方が、お互いに気が楽だからである。

文化の違いとはいうが、僕にとっては、非常なストレスである。
休みの日しか、パタヤに行かない。
その休みの日ぐらい、自分の自由な時間を過ごしたいのである。
面倒なこと・煩わしい事は、ご免である。

まあ、仕方がない・・・とあきらめるか。
それにしても、日本食以外の、食べ物という食べ物を全部食べつくし、日用品の買い置きまですべて持っていく家族を、快く受け入れられる日本人が居たとしたら会いたいと思う。
日本食や日本の酒など「今まで見たこともないもの」は、無事であることが、何よりも良いことである。
ロータスやビックCで売っているものは、「どうぞ。」ですね。

埋まらない溝 その1

2007,3,19



僕は、タイ人と付き合っている。
価値観の違いというか、どうしても納得いかないことがいくつかある。
つまり、相手の言っていること・考え方・気持ちは十分に理解をするが、合意・納得はできないことがいくつかある。

そのひとつは、仕事・収入に関する考え方。これは、日本に住んでいる100%日本人と、僕の考え方でも温度差がある気がする。最近、「ある一定の貯金ができたら、給料が安くても、気楽な職に変わりたい。」「ある一定額貯まったら、マッサージ屋をやりたい。」とつぶやく。タイ人からすると、給料が安くなる転職などありえないのである。又は、商売を始める為の、計算をして、今の収入以下の利益しか見込めないと予想されるのに、商売を始めるという選択はない。給料(収入)が下がっても転職する者は、大馬鹿者か、家庭の事情など、よほどの事情があるためであると考えている。確かに、日本人で同感する人も大勢いるはずである。

但し、日本人の場合は、「やりたいこと」「生き甲斐」「好きなこと」に出会うと、割とあっさり捨てるかもしれない。

今の仕事は、確かに収入は良いと思う。しかし、責務・義務も大きいのである。

上に立てば、出費も大きい。

「責任は少なく、給料は、高い。」は、理想ではあるが、そんな職場は、よほどの幸運でなければ、見つからない。

タイに来た際に、「収入や安定を捨てた」のかもしれない。
タイに来た目的は、「バリバリ仕事をする。」為ではない。
タイで働くからには、「日本よりも、サバァイで働きたい。」

と、贅沢を言ってしまう。

40歳で、ある一定のお金を残し、残りの人生は、店番程度の仕事をしながら・・・っていうのが、夢である。

この話をしていくと、ダムさんの考え方と僕の考え方の根本の違いが分かる。

ダムさんの言うサバァイは、「上に立つもの」=「会社での地位が高い」=「命令できる立場の者」=「給料が高いもの。」を指す。金と地位が、サバァイの象徴である。

僕の言うサバァイは、重責がない仕事である。(責任が重くなく、ほどほどの食えるだけの収入の仕事である。)

上に立ったことがないから、苦労やプレッシャーも知らないんじゃないかと言いたいが、それを言うと、喧嘩になってしまうから言わない。

重い責務だからこそ、高給なわけだが、「給料安くても、重責がない方が良い。」というのが、僕の今の考え方。

今の状況で行くと、仮に「ご気楽・安月給」な会社へ衣替えをしたり、「フル回転しても、僕の日本人と

しての最低賃金もでないようなマッサージ店を開業したい。」と言い出したらしばらくは、口も聞いてもらえない気がしてならない。

日本人なら、分かってもらえるだろうか？とふと思う。



集会

2007,3,16



週末に、過激な反クーデター集会が予定されているようである。
現在の、暫定政権への不満に起因した集会のようである。
支持率低下の話は、よく耳にするが、9月にクーデターを起こしての政権だけに、複雑である。
1) クーデター後、半年を過ぎても、タクシン政権の汚職の事実を証明できない。
2) 経済分野の失策が続いた
3) 軍事政権でありながら、治安が安定しない(昨年末のバンコクテロ事件)

なるほど、言われてみれば、理解できる。
確かに、色々なところで、「悪い部分」が出てきている気がする。
治安問題が、やはり一番気になる。
南部では、殺された・首を切られたなんて話は、毎日の出来事のように、驚きもなくなった。
ガソリン代も、26バーツを超えた。
どんどん上昇し続けているときは、毎回、ニュースになっていたが、一度少し下がった後に、再上昇している最近は、大きなニュースとなっていないように思う。

最近、何かがおかしいタイランド
パタヤだけは、週末、年に一度のパタヤ・ミュージックフェスティバルで大盛り上がりなんだろうが、テロでも起きないかと、やや不安。



美味しい食べ物見つけた

2007,3,15



サウスパタヤからジョムティアンビーチに行くまでの道は、現在、拡張工事中。
よって、通行止めや渋滞がひどい。
最近、観光客が多い、ビーチロードやセカンドロードは、ほとんど行く機会がないが、それでも、マイクショッピングセンターやロイヤルガーデンに行くときがある。

都心からの帰りは、ウォーキングストリートをバイクで通りぬけることが多い。
ウォーキングストリートは、昼間であれば、車両通行可能であり、そこから、船着場を抜け、ジョムティアンの方向へ抜けることが可能である。

最近、夜のウォーキングストリートは、何か特別な用事がない限り、行かない場所となっている。
だって、人ごみ・高いシーフード、雑踏・・・どれをとっても、いい事なんかひとつもない場所である。

さて、昼間、ウォーキングストリートを通ったら、イタリアンジェラートの店があった。
「たまには、美味しいアイスクリームを・・・」と思って、入った。
小さいカップで、69バーツというのは、タイの物価からすると、「いい値段」である。

驚きです。「マジで美味しい」
タイに来てから、多分、舌が香辛料と調味料で味覚感覚が麻痺している気がする。

徐々に、「美味しい」と思った。

タイのアイスといえば、街中をドラム缶のような車体を押してアイスを売るおじさんのアイス。5 - 10パーツで、何故か、甘いもち米などトッピングも多く、最後は、練乳をかけてくれるココナッツのほんのり香るアイス。

また、会社の食堂で売っている5パーツの棒アイスの味に慣れてしまっている。

5 - 10パーツアイスは、「非常に美味しい」とは言わないが、「十分に満足できる美味しさ」である。

しかし、ここのジェラートは違った。

舌に絡まる冷たさ・・・本当のフルーツの甘さ・・・どれを取っても、「食べる感動」

徐々に、食べ物で感動した。

しかし、同時にちょっとむなしくもない。

日本に住んでいたら、この程度の味の食べ物は、日常的に食べているはずである。

観光客が食べたら、「意外といけるかも・・・」というレベル。

その程度の味でも、ものすごい感動を味わう今の自分をちょっとさびしく思う。

日本じゃ普通の味・・・外国じゃ、貴重・感動ものの味・・・ということだろうか。

毎週、通いたい店が、またひとつ増えた。



確定申告

2007,3,11



昨年末、長期ファンドを10万パーツ購入したので、3万パーツ分の所得税が確定申告で戻ってくるようである。

タイの場合、6万パーツまでが基礎控除。

配偶者控除が3万パーツ

子供で未就学が1万5千パーツ、学校に行っていれば、1万7千パーツの控除。

その他、退職積立金・社会保険・生命保険・長期ファンドなどの項目があり、確定申告することで、追加徴収・還付される場合もある。

日本人同僚も、確定申告で、払い過ぎていた分の税金が戻ってきた。(小切手で・・・)

しかし、僕の分は・・・といえば、追加書類の提出を求める手紙が来た。

しかも、原本を持って来るように・・・との事なので、県の税務署まで行かなければならない。

この手紙は「面倒くさくて、税務署まで行くのを諦めるかもしれない・・・」という期待にかけたような気がしてならない。

当然の事であるが、一度払ったお金を戻すというのは、この国では、大変なことである。

「法律や制度がどうか書いてあっても、一度支払ったお金なんて、返すわけがない。」

同僚の人間は、何千パーツの単位の還付申請であったが、僕の場合は、3万パーツの還付申請。

役所からしてみたら、返したくないのは当たり前。

とは言っても、「返してもらおう権利がある」とも思っている僕。

返ってくるかどうかは分からないが、もし、返ってきたら「タイという国を見直そう」と思う。

ちなみに、県の税務署まで足を運び、オリジナル書類を見せ、コピーをすべて提出した。

その後、どうなるかは・・・神のみ知る・・・いや、税務署のみ知る。



サバイバル社会

2007,3,10



タイ人と仕事をしている日本人は、「タイ人は・・・」「タイ人は・・・」とぶつぶつ文句や愚痴を言う人間が非常に多い。

そういう自分も、その中の一人である。

しかし、最近、自分の会社で、面白い現象が現れている。

僕の会社では、休みを利用してセミナーと題して、ホテルの中で、講習会を開く機会が頻繁にある。もちろん、休みの日に開催するのであるから、自由出席であり、強制もしない。

しかし、面白いことに、毎回出席する子は、優秀なタイ人で、「将来の幹部候補」として目をつけている子が多い。

逆に、「反会社」「やってもらって当たり前」の子は、出席しなくなった。

つまり、会社にとって、マイナスであろう職員は、自然と参加しなくなった。

新しい会社は、ある人間を絞り込むのが難しいと思う。

まともな人間しか働けない雰囲気＝常識なき人は、居られない会社になれば、その会社の人事問題は、全くなくなると思う。

逆に、悪いやつが幅をきかせる会社であれば、いい人が、居られない職場になってしまう。

その場合、正常な形に戻す為には、莫大な労力が必要となる。

何事も「最初が肝心」というが、まさにこのことである。

日本にも相当数がいるとは思いますが、「会社生活不適合人材」が存在する。

別に、会社員がえらいわけでもなんでもないが、組織の中で働くということは、「人間としての常識」

「社会性」「平均的な価値観を持っている」「基本的学力」等、必要とされるものも多い。

タイの場合、上記のことができない人材があふれているのも事実である。

タイ人を羨ましく思うこともある。

例え、社会で、会社で生きていかなくとも、選択肢はいっぱいある。

実家に帰ってもよし、リヤカー引いて商売を始めても良いし・・・選択肢の幅は山ほどあると思う。

何処に行こうかな？

2007,3,8



去年に続いてのソクラーンの日本行き。

ディズニーランドへ行く計画もあったりする。

本当は、「何処へも行かずに、のんびりごろごろしていたい気分」であるが、

びっしり「遊びに行く予定が入っているようである。」

考えただけでも、頭が痛く、「日本へ帰りたくなーい。」って思ってしまう。

そういえば、どなたか、ディズニーランドの安いチケットを手に入れる方法をご存知の方、教えてください。（1日パスポートで）

ストレスな平日

2007,3,1



昨夜、田舎にある非常に高級な日本食屋で食事した。
定食2人前と、ビール2本で、1200パーツだった。
食べた後で、後悔しちゃうんだけど、食べたかったのだから、仕方ない。

最近、友人にも、ストレスが溜まっているんじゃないの？って言われる。
田舎生活も、限界かなーなんて思うときもある。

1年目・・・こんな場所もあるんだーって感動。従業員も少なく、村を自由に出歩く。
セブンイレブンもない場所に住んでいることを自慢する。

2年目・・・従業員が多くなり、活動可能範囲も、かなり限定される。
それでも、行きつけの店で、毎日、浴びるほど飲む。

3年目・・・従業員があちこちに住んでいるので、家から一步も出られない生活となる。
何処にも行けないというのは、ストレスが溜まる。
平日は、仕事だけの生活。
パタヤに帰る週末だけをひたすら指折り数える。
監禁生活。但し、超高級な日本食屋と給料日前の2-3日は、割と自由に出歩く。

犯罪者のような生活のような気もするが、5時起きは嫌だし・・・複雑ですね。
村一番の高級アパートに住んでいるが、せめて、フィットネスルームでもあればなーって思う。

1階にもう一部屋借りて、ランニングマシンでも置こうかなーって考えちゃいますね。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

4月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

久々だから、日本のことから

2007,4,25



ようやく通常生活になった気がする。

日本行き・・・その後、親と一緒に帰国・・・ソクラーンの休みというのは、タイだけの話で、日本は通常稼働。

仕事の慌しさと親の面倒で驚くほどのスケジュール。

確かに、毎日のように、豪華食事をし、スタミナたっぷりだったが、忙しさを考えると、疲労の方がはるかに上である。

まずは、日本のこと。

今年は、ディズニーランド・原宿・新宿・富士山というのが、主な観光地。
課長代理の女性部下とダムさんと3人の旅。

ディズニーランドの感想は、タイ人曰く「幼稚だ・・・」って。

確かに、ぬいぐるみが出てきたり、ミッキーの耳の帽子？をかぶった親子連れを見ると、「果たして、大人の遊び場か？」という疑問もある。

僕自身は、10年以上振りの訪問だったが、結構楽しかった。

原宿・新宿は、洋服を買うことが、主な目的。

僕は、無印用品を買い込んだ。(品質が良さそうだったからである。)

事実、制服の下に着用する白いTシャツは、非常に涼しく、お気に入り。

もっといっぱい買ってくれば良かったと後悔。

一番の感動は、富士山(プーカーウ・フジ)だったようだ。

丁度、晴天で、非常に綺麗に見えたこと。
また、雪は、タイ人にとって、一番の感動である。

食事に関して、今回分かったこと。
タイ人と日本に行った場合、「コテコテの日本料理」「酒のつまみの料理」は、無理である。
つまり、「まぐろ(イカ)納豆」「イカの塩辛」「チャンジャ」「うなぎ」「いくら」は、駄目。

ステーキやハンバーグなら・・・と思ったが、和風おろしハンバーグだったからか、駄目。
ステーキと共に、何とか食べられるのは、「焼肉」だった。
日本滞在中、2回も焼肉を食べた。
タイ人は、「何とか食べられる料理」であるが、僕は、「日本の焼肉(牛肉)って、こんなに美味しいんだ。」と感動。ちなみに、タイでは、牛肉は、硬くてあまり美味しい食べ物ではない。

ちなみに、帰国後、焼肉の味が忘れられず、韓国料理に行った。
肉が、1品400パーツぐらいで、スープやビビンバが200パーツぐらい。
はっきり言って、タイの物価からすると「高め」だと思った。
そしたら、「付けあわせ」が、7品ぐらい出てくるし、1人前(いや、1皿)の量が多いのなんのって、驚き。
2皿しか頼んでいないのに、半分は、残す羽目に。

日本との違いを実感。

日本の話に戻ります。
日本で買い物したものといえば、やはり、洋服です。
前述したように、無印用品。
そして、友人に安いよって教えられた「しまむら」
パジャマとして家の中で着用するトランクスを大量購入。
だって、タイで買った場合、(当然、部屋着であるから、ロータスの安物だが)ゴムは、ビローンだし、糸くずはいっぱいだし・・・
あっ、最大の恥ずかしいこと・・・四捨五入して40の人間が、「ディズニーランドの記念品」と思って、ミッキーのパンツを購入してしまった。
ディズニーランドで買い物しているときは、何とも思わなかったが、家に帰ってきてから、急にいい年して・・・って、恥ずかしくなった。

[【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ](#)

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)










O-net 楽天 Superポイント 10,000 ポイント 結婚力診断

tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17  初めて来ました
- 2009,5,16  スニーの生活パターン
- 2009,5,11  税金UP
- 2009,5,10  ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9  ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8  ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

5月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

 解散判決

2007,5,31



タイ国政情が不気味である。
 何日も前から、知っていたが、裁判所が、政党へ解散命令（解党命令）を下したようだ。
 一説には、タイ愛国党（前タクシン政権）と民主党の2大政党に共に解散命令が出されるという話もあったが、結局は、前タクシン首相のタイ愛国党の111名の政治家が、5年間、政治活動ができなくなったという判決だったようだ。

デモや集会が予定されており、バンコクには、近づかないように・・・という情報もあったが、何とか、大きな混乱は起きていないようだ。

それにしても、昨年のクーデター以来、本当に、政情が不安定だと思う。
 政治の不安感 経済の低迷 あらゆるところへの不満・・・という感じがしてならない。

田舎生活、こういう時は、他人事と思えるのが、ありがたい。

 もう一丁・・・を決めた

2007,5,29



コンドをもう一部屋購入することに決めた。
「えーっ、金持ちーっ」って思われるかもしれない。
とんでもない。
コンドとは、名ばかりで、安アパートという感じの部屋。
自分で住むという前提ではなく、タイ人に貸すと言う前提。
仮に、タイ人に賃貸した場合、「月に2000バーツちょっと」と言うのが、相場。
この値段を聞くと、「買値も想像できるであろう。」

何でまた、そんな古いアパートを買うの?と聞かれたら、次のように答える。

- 1.高級コンドは、借主を探すのが大変だが、安アパートだと、稼働率は高い。
- 2.中古物件が下がらないタイの相場を考えると、家賃収入分が、利息と考えられる。
- 3.何と言っても、迷わず買える金額である。
- 4.スニーが近いので、ひょっとして、部屋に使うかもしれない。

ダムさん名義で、購入する。
この金額では、外貨送金証明書(トートー3)も面倒くさいと思う値段。

そもそも、知り合いで、この手の方法で、かなりの家賃収入を得ている人と会って、影響されたのが、そもそものきっかけ。

確かに、100万バーツのコンドを買うより、20万バーツの部屋を5部屋買い、タイ人に2000バーツで貸して、月に1万バーツのお金を得るというのも悪くない。
「塵も積もれば・・・」の方法である。
100ヶ月で、元金の元が取れる。

最近、早期リタイヤばかり考えている。
もちろん、長い年月をかけて考えていくことだが、リタイヤする条件として、「働かなくても、資産を廻して、収入がある。」というのが、条件であろうと思う。
もちろん、年金を貰えれば、一番、良いのだが、そこまで、待てるわけもない。

こんな調子で、せこく、「働かなくても、収入がある財産を作る。」ことをやれば、意外に早く、「遊んで暮らす日」が待っているかもしれない。

まあ、「遊んで暮らす日」というのは、大げさとしても、「趣味程度の仕事」「給料は、安くて良いから、楽な仕事」「薄給料・薄責任の仕事」ができる日が早く着て欲しいと思う。



休みがある程度の忙しさ

2007,5,24



忙しい・・・の一言に尽きる。
しかし、日本で働くサラリーマンより楽かもしれない。
だって、休みは、ちゃんと休む。
よく「終電の時間まで仕事をしている。」と聞くと、それほどではない。
残業といっても、2-3時間程度なら、「可愛い残業時間」かもしれない。
まあ、これだけ、お金を頂いていたら、文句を言いたくても無理である。

平日は、仕事・・・休みはパタヤ・・・というメリハリがしっかり付いているので、ニュースや情報に非常に疎くなっている気がします。

それと共に、話題が全くない平々凡々の生活である。

早期リタイヤばかり考えてしまうが、いくら、タイの物価が安いといっても、宝くじでも当たらない限り、リタイヤなんて無理である。

リタイヤといえば、パタヤには、定年前リタイヤで、パタヤ在住者もいる。

日本人の55歳といえば、本当に若い。

リタイヤ生活をしている人と、話をする機会もあるが、「今、楽したら、後がしんどいよ」「逆に、今、苦労したら（がんばったら）、後が楽だよー。」と言われた。

その言葉が、妙に頭から離れない。



狭い世界のような気がする

2007,5,23



パタヤの休日・・・お決まりコース

美味しい食事、フィットネス、お仲間ビーチ、マッサージ・・・実は、すごく狭い世界で生きている。行く場所も決まっているし、友人も限られている。

そりゃ、スニーに行けば、入れ替わりがたくさんあるが、それは、それ。

なんだか、活動範囲・行動範囲が妙に狭いような気がしてならないのが、今の悩み



誘惑の電話

2007,5,21



人材派遣会社から、電話があった。

「友人で、仕事を探している人は、いませんか？」という電話である。

その人は、良く知っている人だから、はっきり「　　さんは、（僕のこと）動かないですよね。」って言いながらも、「友人で、こんな条件の人を探しているんだけど・・・」って言うわけです。

その条件が、僕に、ピッタリだったりするんで、「何処ですか？」とか「給料条件は？」なんて、思わず、言ってしまいそうになるが、そこは、我慢。

相手の罠にはまってしまう。

この手の電話があると、「今、籠の中の鳥です。」と言っている。

籠の中から、抜け出したい気持ちはあるが、抜けられない・逃げられない。

その理由は、僕の場合、「金銭的条件である。」

綺麗事を言わず、「今の所は、経済条件が、良いから辞められないです。」って言うと、人材派遣会社も何もいえない。何故なら、今以上の、経済条件の会社を紹介できないからである。まあ、選択肢があって悩むのも困るが、選択肢がないと言うのも、悩みがなくて、良いものかもしれない。



永久会員

2007,5,8



これまでも、週に1回は、ジムで運動するようにしていた。
 パタヤは、フィットネスが結構ある。
 最初は、ボーイズタウンのBOYS BOYSBOYSの真ん前のジムに通っていた。
 サウナが暑いし、人は少ないし、水風呂があることが魅力だったが、ジム器具が売りに出されたので、通うのを止めた。

それから、サウスパタヤのスニーからサーイ・サームに抜けた所のジムに通っていた。
 土日しか行く機会がないから、月会員にはならず、1回150バーツを支払っていた。

ところが、トニーフィットネスで永久会員が1万5千バーツと聞いた。
 15000バーツといえば、日本円で4万円ちょっと。
 永久会員＝一生使えて、この値段は、徳だと日本人なら誰でも思うはず。

一方、来月、つぶれるんじゃないのーって不安も・・・

でも、1万5千バーツで24Hオープンなら、やはり、安いと思う。
 しかも、パタヤの何処の支店でも利用できる。

二人で、3万バーツ支払って、永久会員になった。

この魅力は、プールサイドに大きなTVがあり、TVを見ながら、歩けること。

日本人なら、やはり、「来月、オーナーが夜逃げして、倒産する。」って思うよね。
 まあ、そうなる前に、一生懸命通いましょう！



健康診断でひっかかった

2007,5,7



健康診断で、ひっかかってしまった。
 尿酸値が、7.3という数値。
 医師から、動物性タンパクを食べるのを控えるように指示。
 後で、分かったことだが、ビールが一番いけないらしい。
 そりゃ、そうだ。
 あれだけ、浴びるほど飲み続けていたのだから・・・肝臓が元気なのが不思議なくらいである。
 ビールの量を、一気に減らした。
 何も無い日は、飲まなかったり、飲んでも、缶ビール3本くらい。
 その結果、最近、便秘気味であること（水分が、足りないからか？）
 寝つきが悪いことが心配事。

酒が入っていないと、寝付けない身体になってしまっているのだ。
 まあ、これを機会に、健康志向になりましょう。



シンガポール

2007,5,6



シンガポールに2泊3泊で行ってきた。
 バンコクから、丁度、2時間の距離。
 チャンギ空港から市内までは、30分ほどなので、便利な国。
 食べ物は、美味しい。
 多民族国家にふさわしく、中華・韓国・インド・西洋・日本・・・あらゆる国の料理が食べられる国である。
 僕は、豆腐ソバがお気に入りである。
 豆腐・厚揚げ・ミンチ状にしたものを野菜にはさんだり、豆腐麺と言っても、具の種類は豊富である。

物価は、日本の7-8割ぐらいかな？
 タイから行くと、「随分、高価な物を持っている」という印象。
 洋服・カバン・時計・装飾品・・・身につけているものは、それなりの品質の物であることを実感する。

社用でいったのだが、個人的に言えば、今回は2度目。
 可愛い子も居ないから、「二度と来ることはあるまい」と思っていたが、2度目の訪問となってしまった。
 普段、車から車の生活なので、久々に、地下鉄に乗り、階段を使い、「歩きつかれた」というのが、印象。

タイに戻ってきたとき、心底、ほっとした。

 singapore
2007,5,3 

i stay in singapore,now.
 i come to singapore for business.
 yesterday i go to gay sauna;one seven.
 it take a entrance charge 17 SGD.

singapore, it have chaenese foods, korean foods, indian foods and so on.
 i eat chenese noodle every day.

happy time(^^)

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

6月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

屈辱連発

2007,6,24



久々の屈辱。

酔っ払って、いつものマッサージ用のボーイを連れて帰った。

マッサージ用というのは、そいつが、元々、ちゃんとしたマッサージの学校を出ていて、古式マッサージ店でも働いたことがある人間。

今は、バービアでファラン相手に働いている。

結構、頻繁に連れて帰ったことがあるが、古式マッサージだけして帰るというパターンばかりだった。

ところが、酒が廻って、うっかり、ウトウトしてしまった。

気持ちよさで、目が覚めたら、全裸にされ、パッキリ銜えられていた。

あまりのテクに、しばらく続けてもらったが、やはり、30過ぎの奴でいったらあかんと思って、途中で止めてもらった。

しかし、勝手にやったこととはいえ、スペシャルサービスをしてもらったので、黙って、500パーツ渡した。

30過ぎの奴に舐められ、屈辱。

たまには、盲人マッサージ以外のマッサージに行こうと思い、全くの一見客として入店。

薄暗い部屋に通されて、着替えて、マッサージ開始。

若い感じのお姉ちゃんが登場し、マッサージ開始。

結構気持ちよくて、ついつい、マッサージされながら、股間を大きくしてしまった。

まさかのことだが、古式マッサージをしている手が、徐々に、股間マッサージに変わっていく。

いくらなんでも、女性の手で、仰天するのも、ゲイとしては、恥ずかしい。

考えているうちに、手は、パンツの中に入ってきて、モロに股間マッサージが始まった。

断る決心をし、手で払いのけて、「このマッサージは結構。」という意思表示。
1時間100パーツのマッサージx2時間で200パーツというのが、マッサージ料金であるが、若いお姉ちゃんが股間を5分ほどマッサージしてくれた・・・ということで、帰り際に100パーツ渡した。
あのまま、もし、抜いていたとしたら、いくらぐらい渡すのかな-----なんて思いながら店を出た。
それにしても、性の街パタヤ・・・勝手に刺激して、「抜いたから、ほら、お金払いなさい。」という商売が多い気がする。

古式マッサージ・・・油断ならぬ。



パタヤマラソンに出る？

2007,6,22



パタヤマラソンに出場しようかと思っている。
フルマラソン・ハーフマラソン・クォーターとある。
四分の1なら、10キロちょっと・・・何の準備もなくとも、鍛錬していなくても、走れるような気もする。

10キロと言えば、歩いて2時間ちょっとだから、走れば、1時間ぐらいたと勝手に思う。
ジムでエアロビを1時間やったという程度の運動量ではないか？と勝手に考えている。

友人に、「何で、出場するの？」って聞かれて、返答に困ってしまう。
「何となく出たいと思ったから」「思いつき」以外に回答がない。
格好良く「歳の記念に・・・」と言いたいところだが・・・

7月15日が、パタヤマラソン当日。
フルマラソンは、4時半スタート。
10キロは、5時半スタートだった気がする。
まあ、記念のTシャツを頂くために、参加するという程度としよう。



危険な国

2007,6,19



仕事は、割合と落ち着いている気がする。
程ほどの忙しさの日々は、久しぶりの気がする
平和と言うのは、良いことである。

新聞を読んだら、タイは、「平和な国」の順位が、100位以下であった。
約120の国の順位であるから、かなりどん尻である。
ちなみに、イラクが最下位。

南部では、毎日のようにテロ・爆発・死傷者が発生しているが、
同じタイ国内で起こっているとは、誰も考えておらず。
確かに、統計上は、タイで爆発が毎日のように発生する国ということで、「安全な国ランキング？」では、下位にランキング。

それ以外にも、クーデターや、デモ集会を考えたら、やっぱり安全な国ではない。
住んでいる人間からすると、「危険を何も感じていない。」というのは、非常に不思議であ



悩む

2007,6,18



久しぶりにバンコク時代の友人に電話した。
懐かしい声と共に、何か悩んでいるような感じ。
「来年、日本に帰ろうと思って・・・」とう声が、ボソッとあった。
「将来が不安だから」というのが、その理由。

全く同じとは、言わないが、僕と彼のパターンは似ている。
学校を出た後、しばらく働き、小銭を貯めた。
30前後で、日本を離れ、タイで生活する決意をし、来タイ。
しばらく遊んだが（実際は、学校に行ったと言いましょうか）タイで仕事を見つけて働いている・・・というパターンである。

「現地採用組」と言われる人間の大部分は、このような感じである。
お互いにそうだが、来たばかりの頃は、「先の不安」など考えもしなかった。

サウナやディスコの話・・・タイやタイ人の話で朝まで騒いでいたこともあった。
「年取ったら、どうするの？」という質問に関しては、「あなたこそ、年取ったらどうするの？」と言いたかった。
マイノリティーを指して、非難しているとしか思えなかった。
しかし、40歳を目の前にして、「先のこと」を良く考えている。
確かに、「先のこと」は、非常に大事であるし、「将来を不安に思う。」という気持ちも良く理解できる。

タイで生活する = 外国人であり、やはり色々なことを考えざるを得ない。
どれだけ税金を払おうが、見返りはあまり期待もできない。
豊かな時は、「いらっしゃい」だが、丸裸になったら「国へ帰ってくれ。」というのが、現実であろう。
（当たり前な気もする。）
外国人であれば、ビザの問題を避けて通ることはできない。
日本に居る時には、考えもしない面倒なことである。

先が不安・・・タイ在住者というか、海外在住者は、そう考えるのも当然のような気がする。

僕の場合、「早期リタイヤするには、どうしたら良いか？」ということばかり考えている。
いかに早く「仕事をしなくても食べていける生活」「店番程度の仕事で、収入があれば・・・」などと「世の中の厳しさを舐めた発想をしている。」

日本で働いていれば、「年金」という大きなお土産がある。
若い頃は、「何十年先のお金」に興味もなく、真実味もなかった。
さすがにこの年になると「何十年先のお金」ではあるが、「現実的なもの」と思えてくる。

友達に感化されたのか？しばし色々なことを考えている。
ちょっと、自分の資産を分析してみた。
東京の部屋の家賃収入・・・この前購入したオンボロアパートを貸したら・・・今住んでいるパタヤのコンドを貸したら・・・とりあえず、仕事をしなくても、タイで、食べていけるかもしれない。
しかし、どこも遊びに出れずに、袋に入ったご飯を食べ続けるという前提である。
「そんな生活をするくらいなら、日本に帰る。」よなーって思った。

当たりの事だが、「まだまだ、働かなければならない。」のである。
先が不安だと思い、日本へ帰る・・・それも、選択肢の一つかもしれない。
どこで働いても、仕事をし、収入を得る以上、大変なことには変わらないと思う。
そう考えると、僕の場合、今の生活が、良いんじゃないのーって思った。



NHKで松田聖子をTVで見た。
何年ぶりかで見る松田聖子・・・NHKで見る松田聖子に驚き。

中味は、デビュー27周年のドキュメント。
「女性に圧倒的な支持をされ続ける松田聖子の生き方」と趣旨だ。
確かに、45歳、松田聖子・・・すごいパワーだと思う。
娘の年齢を考えれば、「おばさん」であるはずの年齢。
今、輝いている。

そういえば、昨年の大晦日の紅白のDVDを見た時に、今井美樹にも驚いた。
二人とも、「確かに、老けたと思うが、きれいである。」

もちろん、僕が、小学生の時のアイドルだから、何歳も年上である。
芸能人って、パワフルだなーって思った。
どうしたら、老けないか・・・「人に見られる仕事をする。」というのが、結構当たっているかもしれない。

一般人（自分）は、人に見られるということに全く無関係であるから、どんどんお腹周りに脂肪が付いていく。（ただの食べすぎの言い訳ですな。）

-



労働組合

2007,6,12



労働組合の問題が、顕著化している。
日本も、過去には、労働組合が過激であった時代があると聞く。
しかし、最近は、過激な行動には出ない気がする。
会社に要求・権利主張することは、間違っているとは思わないが、結果として、会社の損益が増大し、赤になり、倒産したら、職を失うことになってしまう。
タイの場合、外資系が多く、赤でも海外親会社がしばらくは補填してくれる・・・という傾向が強い気がする。（我が社だけか？）
それに、転職が自由な国だからこそ、「会社がつぶれたら、法律に則って、自己退職では支払われない補償金を貰って、辞めて、次の職を探せば良いと考えている気もする。」まあ、正直言えば、要求する方は、そこまで、深く、考えていないというのが、本当の所であろう。
団地の中でも、今年に入って、労働組合ができたのは、5社目である。
年間、10社ペースで労働組合ができるというのは、すごいスピードだと思う。

経営の話が分からない人と、交渉するのは、大変であるという。
「（他社）は、夜勤手当が、100パーツだから、我が社も100パーツを要求する。」ってな具合だから、困る。
それぞれの会社の事情など考えずに、「知り合いの会社がこうだから・・・こうしてくれ。」という発想だし、上を見ればキリがないと同様に、下を見てもキリがないという考えはなく、良いところだけを見て、「こうあるべきだ」という風潮である。

まあ、今のところ、自分には、関係のないことであるが、先を考えると頭も痛い。

早く、ある一定のお金を貯め、サラリーマン生活を辞められる日が来ることを祈ってばかりいる。

-



コンドを購入した。

今回は、ダムさん名義なので、話が早い。

IDカードとタビアン・バーン（居住証明書）のコピーとお金だけが用意するもの。

外貨送金証明が不要と言うのは、すごく簡単である。

ダムさん名義であるから、僕は、土地局には行かない。何もしない。

つまり、お金を出すだけの人。

「安い」と言っても、さすがに、十萬バーツはする。

お金を下ろしに行ったら、スーパーの中に、入居している銀行店舗では、1店舗で10万バーツまでしか下ろせないとの事。

仕方なく、カルフル支店・ビックC支店・・・と銀行巡り。

日本人の感覚からすると、銀行（一応、窓口）で10万バーツしか下ろせないというのは、何とも少なすぎる気がする。

それでも、土日の場合、支店が閉まっているから、仕方が無い。

銀行のはしごである。

一応、安い部屋と言えども、土地の権利書も去年買ったコンドと同じである。

この値段の物件・この築年数なのに、「まだ、銀行の抵当付き」今回も、前回同様、銀行支払分のキャッシャーチェックを準備し、残金は、売主へ・・・現金。

当然、借りている人が居て、「賃貸人は、どうするのか？」と事務所に聞いたら、「あなたが使うんだったら、出て行ってもらうわよ。別の部屋を紹介すれば良いだけだから・・・」との事。日本的に考えれば、「賃借権」とか「居住権」とかうるさいことになりそうだけど、「タイだから、そんなもんかなー。」って思う。

「家賃だけは、今日の分から、僕の口座に入れるように・・・」って念を押しといた。

ちなみに、自分で住むという選択肢は、あまりに少なく、改装の為に、出て行ってもらうように、依頼した。

ひょっとして、改装が大成功して、僕が住んでも構わないと思えるような部屋になったとしたら、住むかもしれない。

そもそも、土日しか使わないので、今のコンドは、もったいないと思っていた。

月に6日程度なら、安コンドで我慢するという選択肢も当然ある。

駐在員・・・平日は、セブンイレブンもない田舎生活・・・週末は、古く狭いコンドに居るとするのは、結構笑える話かもしれない。

そういえば、「買う前に、念のために部屋を見たい」と部屋を見に行ったら、「はい、これが鍵」って事務所の人に渡されて見に行ったら、5分前に、丁度、出て行ったのではないか・・・というような部屋だった。

部屋というのは、「プライバシーな空間」という意識は、この国には、ないようだ。

そういえば、この部屋にだって、平気で4-5人住んでいるのだから・・・プライバシー空間という考え方自体が、間違っているのかもしれない。

今回、試しに買って見て、ちゃんと家賃収入が望めそうならば、日本に帰った時に、外貨送金し、SALEと書いてある部屋に片っ端から電話し、「パーツなら、来週にでも買います。」って言って廻りたいと思うが・・・

今回、初めて、ダムさん名義で購入することになった。

タイ人名義で、財産を買っている話を聞くと、「今に、丸裸にされちゃうよー。」「裏切られるよー。」って思っていた。

今の気持ちは、「さすがに、ダムさんも、将来を考えた損得勘定は、できるだろう。」と思っている。

そもそも、これが欲しい為に、何をやっても良いが、失うものは、このコンドを得る何倍もの損害になるだろう。

まあ、タイで幸せに暮らせているのは、ダムさんのお陰なので、そのお礼だと思っています。



お金の扱い方

2007,6,10



タイ人のお金に関する扱いに疑問を感じる。

ご存知の通り、タイのお札は、王様の顔が印刷されており、その為、表と裏を気にする人が多い。

表・裏の順序がバラバラのまま、レジの子に渡したら、きちんと並べなおしている時もある。

そんな大事なはずのお札だが、タイ人は、平気でお札に数字を書くし、今日は、ホッチキスで留めていた。

数字を書くというのは、会社のお金で数を数えた場合に、一番上に「何枚」という意味で、数字を書く。その人だけの個性だと思うが、10枚以上ある場合は、輪ゴムで留めてくるが、数枚程度だったら、パチンとホッチキスで留めてくるのである。

これには、驚かされる。

だって、日本で、お札をホッチキスで留めるなどという行為を見たことも聞いたことも無いからである。

何年たっても、意外なことに出くわす国じゃのー。



生活改善

2007,6,9



尿酸値が高いと言われたお陰で、見事にアルコール減らしができています。

そりゃ、「前が異常」であったと思う。

「浴びるほど飲む。」という言葉がピッタリだった。

毎日、アルコールの入らない日が無いという生活を何年か続けた気がする。

今は、「休肝日」も多い。

部屋で一人で飲む日も、減ってきていると思う。

ソーダー・マナーオ（レモン）を飲んでいるので、ビタミンCもたっぷりである。

飲まない日は、寝つきが悪い日もあった。

しかし、最近は、慣れてきたと思う。

体調・その他、変わったことは、次の通りである。

便秘気味になってきている。水分が足りないせいかな？逆に、浴びるほど飲んでいた時は、便秘の逆であったが・・・

睡眠時間が増えた・・・酒を飲んで寝ると、熟睡ができる。しかし、アルコールを飲まないで寝た場合、寝つきも悪いし、浅い眠りのような気がする。その結果、睡眠時間が長くなった。

思ったより、体重は減らない。お腹の贅肉は、ビールだけのせいではなかったようだ。

お金が減らない・・・タイでは、食費より、飲み物代が高いと思う。特にアルコール飲料は、高い。そりゃ、日本と比べれば・・・安いけど、タイの物価からすると贅沢品である。ハイネケン（大瓶）1本で、ラーメンが3杯くらい食べれるのだから。今更、安くて、頭の痛くなるビア・チャーンを飲むと言うのも、選択肢としてはない。昔は、大瓶3本100バーツとか言って、買って来て飲んでいたが、今じゃ、ダムさんすら飲まない。

まあ、生活改善ができつつあり、ありがたいことだと思っている。



夢は、捨てていない

2007,6,7



盲人マッサージを開業する夢に関して、最近、書いていない。
諦めたわけでも忘れた訳でも気が変わったわけでもない。
但し、もうしばらくは、「貯金する期間」だと思っているので、特に活動はしていない。
マッサージ店開業にあたり、マッサージ師の免許くらいは、欲しいと思っている。
別に、オーナーである僕が、お客様に対して、1時間150パーツでマッサージしようとも思わないし、
毎日揉んでいるプロのマッサージ師より下手くそなのは、目に見えている。
しかし、オーナーが、タイマッサージの基礎も何も知らないというのも悔しい。
タイ政府発行のマッサージ師の免状が飾ってあるだけでも格好がつく・・・とも思う。

調べてみると、バンコク・チェンマイには、日本人用（日本語対応）のマッサージスクールがいくつかある。
ワット・ポー・マッサージスクール・スクンビット校が、一番有名なのではないかと思う。
それ以外にも、意外とタイ・マッサージを日本人用に教える学校は多い。

ネットでいくつかの学校を見てみたが、大体は30時間で12000パーツ程度の授業料である。
30時間で、マッサージ師の免許とは、いかにも時間が短い気がするが、タイなので、「こんなものかな
ー。 」とも考える。
30時間ということは、1日6時間平均で勉強した場合、丁度5日間である。
旅行者であっても、十分に受講可能な期間である。

今は、ちょっと忙しいが、秋くらいに有給を取得して、1週間、バンコクに泊まって、マッサージ学校の
30時間コースを受講・・・というのが、僕の考えである。
ひょっとしたら、旅行ついでに「チェンマイのマッサージ学校」という選択肢もありえるかもしれない。

それにしても、何校か、日本人対象のタイマッサージの学校があるのだが、「どんな日本人が、勉強しに
くるのか？」が、知りたい。
僕のように、「マッサージ店を開業したい。」と考えているのか、「タイマッサージが、あまりに気持ち
良く、学んでみたいと思った。」のか「駐在妻のカルチャースクール」なのか・・・
それにしても、バンコクには、日本人相手の、ありとあらゆる商売が出尽くしているんだなーって思う。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

7月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

慣れない海外

2007,7,26



海外に縁のない人が、日本から派遣されてくる場合がある。

「駐在員」という人たちである。

商社や物流業界は、まさに、海外勤務が当たり前の人たちである。

外国（外地）で働くと言うことは、どういうことかを良く知っている人たちではないだろうか。

ところが、外国に縁もなにも無い人が、突然、業務命令で、赴任してくる場合がある。

これは、恐ろしいことである。

業務命令を出す立場の人は、海外によく行っているが、「空港まで送迎車と共に、現地駐在員がお出迎えし」「一流ホテルに宿泊し」「短期間の滞在後、帰る」人たちである。

「生活感」など全くなくなるのである。

「タイに行って来い。」の一言だから、命令する方は、楽である。

実際に、命令を受ける方が、日本から一步も出たことがない人で、突然、社命で駐在すると、本当に大変である。

本人も大変だが、周りも大変である。

タイ語はもちろん、英語も全く駄目。

言葉が全く通じなければ、さすがに一人で動くことができない。

サインをお願いすれば、「これは、英語で書くの？日本語で書くの？」と質問される。

サインの意味を説明するところから始めなければならない。

居・食・住という言葉があるが、とりあえず、衣は、問題ないとして、食は、アパートの中のレストランで済ませ、居は、会社が用意する。

しかし、それだけでは、終わるわけは無く、細かな生活上の用事がいっぱい発生する。

ズボンをすそ上げしたい。
クレジットカードを作りたい・・・等、色々な生活上のちょっとしたことが出てくる。
当然、一人でできるはずもなく、誰かに頼るわけである。

仕事といえば、それまでだが、6年も住んでいて、「当たり前」をいちいち質問されるのには、困惑する。

まさか・・・

2007,7,25 

健康診断で、尿酸値が高いという指摘後、できるだけビールは控えてきた。
ところが、最近、徐々に酒の量が戻ってきていた。
1日に大瓶2-3本・・・これが、平均。

昨夜、夜中に、足の親指の痛みで目が覚める。
何処が痛いと言うか、親指の間接の中がチクチク痛む気がした。

これって、ネットで見た典型的な痛風症状だーってハタと気づく。

ついに・・・来てしまったという感じで、眠れなくなった。
昨夜は、4時間ほどしか寝ていない。

ただの気のせいか？もしくは、本当に痛風症状か？

怖いから、来月にでも、再検診に行こう。
尿酸値が、下がっているといいが、下がるという因子は全く見当たらない(笑)

タイの治安

2007,7,24 

田舎に住んでいるので、全く持って治安が良いとか悪いとか関係ない。
バンコクと地方では、こうも違うものかと思う。

さて、日曜日に、またまたデモがあったようだ。

「反軍事政権」のデモらしい。

1年前は、「反タクシン」

で・・・軍事政権になったら、「反対」

結局、何が良いのさ・・・って言いたくなる。

まあ、軍事政権・・・経済政策が弱いのは、当たり前である。

それにしても、デモだとか、クーデターだとか、軍事政権だとか、南部での毎日発生する爆発なんて考えると、とてもまともな国ではないような気もする。

でも、関係なく田舎に住んでいる自分が不思議である。

老化現象

2007,7,23 

パタヤマラソン10KM楽勝完走に気を良くして、来年はハーフマラソンにでも挑戦するかなんて、馬鹿なことを考え、TONYフィットネスでランニングマシーン相手に3KM走った。

ひざの痛みを感じて中止。

その後、夜になって、段々と悪化。

歩けない・・・足を引きずってあるく状態。

エーーーー嘘だろーーーーって、自分の身体を疑った。

老人が、「ひざが痛くて・・・」なんて言っている光景がふと浮かぶ。

幸いなことに、一晩で完治。

しかし、原因は不明。

なんか、しばらく動かしていないのに、油もささずに急に動かしたことが原因である気がするが、老化を感じる。



ぶっかけがうまい

2007,7,22



タイ食 日本食とマイブームがある一定の周期で変わる気がする。

日本食も、たまに食べれば美味しいが、なぜか物足りなさも感じるときもある。

そりゃ、パワフルに調味料を入れ、にんにくと味の素でダメ押しをしたタイ料理は、美味しいに決まっている。

その究極が、ぶっかけ飯のような気がする。

人によっては、「猫マンマ」と称する人も居るが、個人的には、好きである。

「安くて、上手い」のである。

考えてみれば、日本人だって、どんぶりものが好きなはず。

吉野家の牛丼、天井、カレーライス・・・ぶっ掛け飯と同じようなものである。

日曜日にパタヤでぶっ掛け飯を食べる時もあるが、さすがに、「週末ぐらい美味しいものを食べたい」とも思う。

でも、飽きないんだよね。



選択できず

2007,7,17



「二頭を追うもの一頭も得ず。」ということわざがあったように思う。

まさに、その状態。

ボロコンドは、10日間のリフォーム期間と4万パーツの内装費を費やし、小綺麗な部屋になった。

工事前を知る人間にとっては、たったの4万パーツで、こんなにも小綺麗になるものかと実感。

で、問題なのは、他人に貸すのがもったいと思うようになった。

自分で住むという選択肢もあるとは思う。

どうせ、土日しか居ないわけだし・・・しかし、コンド全体に、カビっぽいというか、何とも言えない匂いが充満しているボロコンド、「せっかくの週末・・・快適な暮らしがしたい。」というわがままもアル。

「人に貸すのがもったいない。」と言う意味は、ここを賃貸する人の階層を見たり、隣近所の人たちの生活を見ると、「綺麗に住んでくれるとは、絶対に思えない。」というのが、正直なところである。

それに、どんなに綺麗に内装をしても、コンド全体の相場からすると、大体の予想はつく。

高く賃貸したいというより、「高い家賃を払えるレベルの人に貸したい。」というのが、本音かもしれない。

今の今も、「週末だけだし、ボロコンドで我慢して、ジヨムティアンの方は、人に貸すか売るかしようか

な。」って考えと

「最初の予定通りボロコンドを人に貸して、毎月、一定の収入を得ようかな。」という考えと色々と考えています。

実は、「やり部屋」として貸し出そうかという案もあるが、数百パーツの為に、鍵の受け渡しやシーツ交換をするのも面倒だ。

自分のやり部屋にするには、使用頻度が低すぎる。

ホテルのほうが、経済的である。

丁度、14日の土曜日に内装が95%出来上がっていた。

今週の日曜日は、100%出来上がっているのは、確実であると思う。

内装の次は、家具購入だが、これも、人に貸すか、自分で住むかで大きく違う。

このまま、はっきりとした決断のないまま、ずるずると金を注ぎ込むのも馬鹿馬鹿しい。

でも、決められない。

僕は、何でも「エイヤ」で決断できるタイプの間人だと思ってきたが、優柔不断な一面もあるんだなーって思った。



7月15日に参加したよ。

2007,7,16



パタヤマラソンに参加した。

と言っても、10KMのミニマラソン

そりゃ、いきなり、42.5KMなんて、無理に決まっている。

ネットで申し込むと、20USドルの参加料。

前日に、会場で申し込めば、300バーツ。

この辺が、いかにも不思議で、外国人でも、前日に、会場で直接申し込めば、300バーツである。

前日の申し込み時に、記念Tシャツをゲット。

Tシャツにパタヤマラソンとしっかり書いてあるし、王様の60周年在位と80歳を記念する黄色のTシャツであった。

Tシャツに関してだが、汗を一切吸わないナイロン生地 of Tシャツである。

洗濯後、あっという間に乾くのが、非常に良いが、汗を一切吸わないので、大嫌いの生地。

まあ、記念品だから・・・「良し」としよう。

記念品が手に入ったので、当日は、行かなくてもいいかなーなんて考えたりした。

なんせ、5時半スタートだって・・・北パタヤのソイ4まで行くには、4時過ぎには起きなきゃいけない。

休みに日に、何が悲しくて、4時に起きなきゃいけないのかと思う。

前夜は、いつも通り、アルコール漬け。

友人に「早く帰らないと・・・」と急かされて、帰宅したのが10時過ぎ。

何とか、朝4時10分に起きて、シャワーを急いで浴びて、会場へ・・・

10キロミニマラソン・・・予想を超える人ばかり。

朝5時に、こんなに人が集まるとは・・・と驚き。

無料マッサージもあったが、無料だけあって、人が殺到し、とてもサービスを受けられる状況ではない。

5時半きっかりスタート。

ビーチ通りソイ4を出発し、北パタヤを抜け、スクンビットを走り抜ける。

セントラル通りを過ぎて、南パタヤ直前で引き返し、セントラルパタヤからビーチロードを得て、到着地点まで戻るといったコース。

えー、こんな爺さんに抜かされるのーって、思う場面も、多々あり。どう考えても、成人病の塊のような体つきの人に追い抜かされるのは、悔しかったが、「競争じゃない。完走することに意義がある。」と心の中で考えていた。

給水所で、格好良く、走りながら水を取って、コップを沿道に投げて・・・マラソン中継では、このようなシーンだったと思う。

実際は、給水所到着の度に、歩いて、ゆっくり水を飲み、一息入れて、また走り出すと言う感じ。

明け方のパタヤ・・・ゴミくさい場所あり、市場の横を走った時に、揚げ物の油の匂いで、ぶっ倒れそうになったりした。

それでも、本当に気持ちよく走った。

10KMという距離・・・意外にあっという間の距離で、1時間半で走りきった。

そりゃ、マラソン選手が、42キロを2時間何分で走るというのと比較しても仕方がない。

自分としては、大満足のマラソンだった。

ちなみに、ダムさんよりも早くゴールした。

ゴールした後、記念のメダルを頂き、またまた大満足。

他のマラソン大会は知らないが、ゴール後、おかゆ・揚げパン・豆乳・果物が食べ放題だった。

走った後、美味しくて、「ガツガツ」食べてしまった。

生まれて初めて参加したマラソン大会・・・

「何故、参加しようと思ったのか？」という理由すら分からない。

「何となく」というのが、精一杯の返答。

ひょっとして、今の自分を試したかったのかもしれないし、自分の年齢を再認識したかったのかもしれない。まあ、そんな格好良いものではなく、「ただの気まぐれ」だろう。

最初の参加の動機から含めて、何が何だか分からない経験だったが、「参加して良かったし、楽しかった。」事だけは事実である。

7時半に部屋に到着後、しばし、昼寝？朝寝？

こりゃ、夜練れなくなると思い、サウナで汗を流す。

(最近、サウナ後が、疲れて熟睡できることが判明)

マッサージ2時間びっちりやったお陰で、何とかいつも通り、仕事をする。



給料交渉

2007,7,5



給料の額・・・日本で働いていた頃は、あまり、興味がなかった。給料明細を見て、「総支給額」「控除」そして、「振り込み額」が、大事だった。

タイで仕事をして、絶対に避けて通れない話が、「タイ人の給料額。」「給料交渉」と言った方が良いかもしれない。

本日も、試用期間明けの子が、「少ない」と言ってきた。

「妹よりも少ない」「他の会社は、こんな給料水準ではない。」と言ってきた。

いつも思うことだが、「入社する時/採用時点と、こんなにも違うものか。」とうんざりする。採用時は、「会社の規定どおりに・・・」「はい、これで、良いです。」という返事。

大体、勤務して、4ヶ月(試用期間)で、いくら上げてもらえると思っているのか？

と怒鳴りたくもなる。

最近、めっきり怒る気力もなく、「ただただ、申し訳ないが、会社としては、この金額だ。」とお願いをしている。

あなただけ、特別扱いは、できない。

心の中では、「給料が気に入らなかったら、辞めれば良い。」と思っている。

「こんな給料じゃ、やる気も起きない。」と、はっきり言い切るタイ人社員に、「どうぞ、ご自由に・・・」と思っている。

だって、ここで、「分かりました。」と言い、会社の提示額を譲歩したら、何かにつけて、この作戦を取られるのだ。

大体、「妹より、少ない」「他社の相場は違う。」「5年前の水準だ。」などと言っているが、「日本人経営者サイドを舐めているとしか思えない。」少なくとも、色々な情報を集めて、「この国の給料水準は、熟知している。」

お金に関しては、駄目もとで、「言ったもん勝ち」「ひょっとして上がったらラッキー」なんだろうが、聞くほうは、本当に疲れる・うんざりする。



内装で、何処まで変わるか？

2007,7,1



結局、馬鹿みたいにお金をつぎ込んだ。

そう、ポロコンドの事である。

人に貸すと決めていたが、「ひょっとして内装に金をかければ、自分が住めるかもしれない。」と思ったのがいけなかった。

「どうせ、安いし。」と思ったのが間違いだった。

賃貸ならば、壁の塗り替えと床のタイルの取替えだけで、何もかも込みで1万パーツポッキリだったはずである。

1万パーツ+賃貸の為の最低限の家具セットを購入し、賃貸に出して、ビール代を稼ぐと言うのが、最初の目的だったはずである。

しかし、やはり、「ポロ部屋を見たら、あれも、これも・・・」で、結局、かなりの金額になった。

今回の内装オーダーは、下記の通りである。

コンドの事務所に支払ったお金は、27000パーツ

部屋の床のタイル取替え・壁塗り（材料費込み）

ベランダの扉と壁の撤去（少しでも広く見せるように）

ベランダにサッシ取り付け（サッシ7000パーツの材料費込み）

トイレの洗面台撤去（トイレが狭いので、撤去し、ベランダに皿を洗える程度のシンクを購入）

トイレの床のタイルを全部取り替え

トイレの壁のタイルを全部取り替え

（タイル関係は、1m²当たり、120-150パーツの材料費を含む）

トイレのタイルと共に、汚らしい便器も取替え。

別途自費で購入した材料(物品)

壁の扇風機（材料費）	1000パーツ
トイレの便器（材料費）	1850パーツ
トイレの扉（材料費）	1000パーツ
ベランダに設置するシンク（皿洗い用）	3780パーツ

合計、35000パーツの出費は、ほぼ、全取替えの工事としては、格安の気もする。
丁度、日本円で10万円ほどとなる。

しかし、コンド自体を考えた場合、果たして「価値があるかどうか？」は、分からない。

最初から、「自分が住むのか、人に貸すのか？」ぐらいは決めないとなーって思った。

それにしても、「タイルの色、何色が良い？」とか「床は、何色が良い？」とか、「買い物する喜び」を
徐々に味わった。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)





tetsu thai life

[ホームページ](#) | [一言メッセージ](#) | [他の日記を読む](#)

更新履歴

- 2009,5,17 初めて来ました
- 2009,5,16 スニーの生活パターン
- 2009,5,11 税金UP
- 2009,5,10 ゴミコンドへ引越 その3
- 2009,5,9 ゴミコンドへ引越 その2
- 2009,5,8 ゴミコンドへ引越し その1

前の月

次の月

8月の日記

sun	mon	tue	wed	thu	fri	sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

賃貸用2部屋目

2007,8,31

コンド管理事務所から電話があり、20万バーツで売りたい人が居る。
 「買うか？」と言われた。
 さあ、大変である。
 お値打ち、価格だから、見る前に「購入を即決。」
 ダムさん、気になって、「見に行くらしい。」
 僕は、「どうせ、リフォームするから・・・」と見る気もしない。

購入の条件・・・2部屋目からは、僕の名前。
 ということは、外貨送金をしなければいけなかったりと、非常に忙しくなってきた。
 コンドは、コンドなので、外貨送金し、銀行に証明書をかいてもらい、土地局に行く手間がある。
 10部屋が目標だが、まずは、5部屋買って、月々の「何もしない収入が1万バーツ」というのが、僕の当面の目標。

来年の4月に帰省した時は、自分で外貨送金しようと・・・企んでいる。

老後を考えた時・・・コンド賃貸収入が、タイでは一番良いんじゃないかって思う。
 「死んだ後、名義はどうなるか？」とか「現金に勝るものは無い。」という考え方もあるが、株や投資をするほど、知識を持ち合わせてない凡人は、一番手っ取り早い方法だと思っている。

ホームシック？

2007,8,30

タイに住み始めて、丸6年が過ぎようとしているのではないかと思う。
正直、今まで、「日本へ帰る。」ということは、考えたことが無かった。
そんな選択肢は、あり得ないと思っていた。
しかし、最近、ふと、「日本に帰っても良いかなー。。」って、ぼんやりと思う時がある。
ダムさんが、強引に、「日本への1年留学」をしようとしているのも大きな原因で、「僕も、一緒に日本に帰ろうかなー。」なんて、思う時もある。
あと2-3年がんばってタイで働き、40歳から45歳まで、とりあえず、食うに困らない程度の仕事をしたら、後は、タイに戻ってきて、ご気楽生活も可能なのでは・・・と思ったりする。

しかし、今の僕の場合は、経済面で、タイで働いた方が、数段良いという例外的な人となってしまった。
タイで働いた方が、収入が良い。ましてや、物価価格を考えると、とんでもない所得格差となる。経済的にも、タイで働いていた方が良いと言う日本人は、少ないと思う。

別に、タイでの生活が嫌になったという意味ではない。
日々の平凡な生活・田舎生活に「つまらなさ」を感じてきたと言うのが、事実のような感じもする。
スニーも、飽き飽きし、最近では、特に行きたいとも思わなくなってしまった。
年を取ったのか・・・・・・・・
今更、ホームシックでもないし、特に困ったことがあるわけでもなく、不満があるわけではない。
不満と言えば、不健康な生活から脱却できないでいる自分自身に腹が立つくらいである。

まあ、今すぐの事でもないし、「何となく、帰りたいと感じる時がある。」という程度の事である。正直、もうしばらくは、「この所得があるのなら、絶対に辞めない。」と思う。



具の無いパン

2007,8,27



ヤマザキのパン屋・・・・パタヤでは、北ロータスにしかない。
ここの商品は、日本的パンで、とても美味しい。

バターロール買ったら、非常に美味しく、「うまい」と言って、2個、3個と食べた。
形からしても、中に、何か具が入ってそうにタイ人(ダムさん)は考えるらしい。
「中は、ソーセージか?」・・・・「違う」
「クリームか?」・・・・「違う」

結局、「中は、何も入っていない」ことが判ると、「何で美味しいの?」という顔をされた。
タイ人からすると、「具の無いパン」「味が無い」ものなのかもしれない。

クリームも入ってなく、砂糖をまぶしているわけでもなく、当然、中に具が入ってもいない・・・・そんなパンは、白いご飯だけを食べているようなイメージなのかなーとふと思った。



不思議なこと

2007,8,26



不思議だ・・・貯金が増えない。
頭の中の計算と、実際の銀行残高が違いすぎる。

そりゃ、安いとはいえ、コンドを衝動買いしたりしたから、3-4ヶ月は、大きな買い物をする前の金額に戻すのに時間がかかる。
それにしても、何に使っているのだろうか？と首を傾げたくなる。

光熱費に関しては、電気・水道共に、数百パーツの世界。
パタヤのコンドは、購入したから、月に400パーツの共益費と光熱費は、300パーツくらい。（休日しか居ないので、光熱費も激安）
田舎のアパートは、洗濯代も含めて、5000パーツで十分にお釣りが来る。
物欲もないタイプだし、洋服やファッションにお金をかけるタイプでもない。

つまり、毎月の固定費は、非常に少なく、残りは、「飲み食い」だけである。
どう考えても、飲み食い（アルコール含む）しかない。
そうだとすると、恐ろしい金額だと思う。

友人の勧めで、来月から、家計簿でもつけようかと思っている。
1ヶ月でいいから、現状を知りたい。（改善の為）

タイに来た当初は、家賃・学費も入れて、2.5 3万パーツぐらいで生活していたような気がする。
パタヤに来た当初は、冗談半分で、生活費2万パーツで、スニー代2万パーツで、貯金が2万パーツ・・・完璧じゃーーーーなんて、言っていた。今の生活は、十分であろうと予想される生活費2万パーツを倍以上超えている。

食事・飲み食いであると想像するが、食費も、この国は、ピンキリ・・・まあ、日本もそうだが、食事をする場所を見直さなければいけないと思った。
安く、健康的で、なおかつ美味しいのは、自炊することであるということは、日本もタイも同じである。

ちなみに、平日は、田舎生活なので、自宅で、箱飯か、ビニール飯が多い。
この前の日曜日の食事・・・朝、近所のぶっかけタイ飯・・・昼、ピック・ホーンステーキにて、ステーキとサラダ・・・夜、ムン・アロイでシーフード・・・
やっぱり、節約しようと思う。（マジで）



逆転最終結論

2007,8,25



嬉しいニュースである。
ダムさんが、家を購入するのを諦めた。（諦めさせた。）
というのは、タイは、金利がすごく高いのである。
そりゃ、預け入れ利息も日本に比べて率が良いので、借入れ利息も、高く設定しないと商売が成り立たない。

ちなみに、住宅の為の借入れ金利は、下記のようにになっている。

政府住宅銀行（タナカーン・ソククロ）

最初の3年間・・・5.5%

4年目以降・・・7.5%

タイコマーシャル銀行（商業銀行） 6.875%（MINIMUM LOAN RATE）

この金利じゃ、ローンの支払というより、金利の支払となってしまう。

何も、借金してまで買うものではない・・・という説得をした。

(タイ人の場合、借金して買えるのなら、喜んで借金をする。後先考えないからである。まあ、困ったら、売れば良いだけだから、そんなに深刻に考える必要はない)

部屋の家賃がもったいないといっても、所詮、この場所に、何年住むかも分からないし、家を買えば、家具や内装や家電の出費もかさむ。

借りていた方が、どれだけ、気楽なことか・・・・・・・・

大体において、家賃は、僕が払っているのだから、ダムさんが、「家賃がもったいない」と言い出すこと自体が不思議である。

なお、手付金(予約金)は、返ってこない。

そのお金は、僕が支払っても良いと思う。

それだけ、この最終結論に関して、僕は、サバーイ・チャイなのである。

タイに来て、「我慢した生活は、本当に嫌だと思う。」

家や借金に縛られるのは、嫌だからである。



国民投票

2007,8,20



新憲法の国民投票が行われ、57%の賛成でもって、新憲法が正式に認められるようである。

これにより、正式に選挙が行われる。

クーデターの際は、1年以内に民主主義へ(つまり、2007年の9月中に)と言われており、その後、今年中に選挙を(2007年中に)・・・今日、タイ人に聞いたら、「どうも、2008年の1月の下旬に選挙になるだろう。」・・・・・・・・と。

まあ、タイらしく、何となく、いつの間にか延期となっている。

個人的には、早く選挙を行い、政治の混乱が静まって欲しいと願っている。

タイ人は、それほど重要視していないが、「今、軍事政権であるという事実がある。」

民主主義を声高々に言っただって、「クーデターによる政権である。」

隣の国と何ら変わらない。

総理大臣を選挙ではなく、武力で追い出し、国が統治されている状態が続いている。

タイの不思議は、これを誰も「異常事態であると思っていないこと。」

また、政治とのつながりは、はっきり言えないが、「経済が良くない」ことは事実である。

最近、新聞の一面で、「千人規模の工場が閉鎖」とかいう記事をよく目にする。

日本も同じだが、大きな会社が、倒産すると、「連鎖倒産」が広がるはず。

この国の人たちは、「危機管理意識が低い」

何かに備えて、「備蓄」することはない。

お金が典型的かもしれない。

預金が無い場合、企業が倒産したりする。つまり、失業すると、たちまち、路頭に迷う。

「無いから盗む」という単純な事になりやすく、犯罪発生率もUP。

政治安定 しっかりした経済政策 経済安定 安全な国・・・そうしてもらいたい気がする。

ズドンと経済が落ちたら、コンドを買いあさろうという考えもあるが、やはり、自分が住んでいる国が「安全な場所」であることが、最も大事なことではないかと思う。

タイに来て、交通事故を何度も目撃し、人が死んでいる姿も何度も見た。
新聞の一面で、毎日死体の写真を見る。
タイの南部では、毎日ように、テロによって死者が出ている。

安全な国であること。
身の危険がないこと。

日本人は、あまり考えないかもしれないが、最も大事なことだと思う。



結論

2007,8,16



結局は、ゴミコンドは、賃貸に出すことに決めた。
まだ、借り手は決まっていないが、正式にコンド事務所に打診した。
理由は、治安が心配だから・・・

物を盗られるなら良い。

命は、勘弁である。

まあ、物が一番の目的だと思うが、もしも運悪く、泥棒と遭遇してしまったら・・・というのは、よく聞く話である。

事務所の人に、「家具を買った。」って伝えたら、「ちゃんと南京錠かけた。南京錠がかかってなかったら、盗られても、責任持てないよ。」とはっきり言われた。

家具を持っていく???ピンと来ない。

でも、これが、現実である。

週に1回、パタヤに帰る時に、「これは、あるかな?」「泥棒に盗られていないかな?」なんて思いながら帰るなんて、真っ平御免である。

確かに、場所的には便利な場所であるが、やはり「ここは、相応しくない。」と決めた。

白人も数多く見かけたが、何となく「住人の質の低さ」を実感するので、遠慮することにした。

よく口にするが、「タイには、真ん中がない。」

ゴミコンドと今のジョムティアンのコンドの間があれば・・・と思うのだが・・・

ジョムティアンのコンドは、パタヤに数ある「高級コンド」と比較したら、大した物件ではない。

しかし、住人の多くは、「ある程度、ゆとりのある生活をしている。」と見受けられる。

そりゃ、人の家計は、全く未知だが、少なくとも、そう見える。

購入価格で、4倍の差は、やはり、住人格差も大きいと実感せざる得ない。



後半戦

2007,8,15



マッサージの学校も前半を終了した。

つまり、60時間のうち、30時間が終了したということである。

6時間×10回の授業というのは、いかにもすぐに終わるようなきもしたが、仕事をしながら休みを使って通う場合、結構長い。

我がまま人間なので、休みをすべてマッサージ学校に通うというのも、非常に馬鹿らしく感じ、土日休みだったら、土曜日だけ行って、日曜日は、休養するとかいうスケジュールリングなので、余計に時間がかかっている気がする。

それでも、半分の5回(5日)が終わったので、後は、意外と早い気もする。

まあ、9月末までには、あと5回行けるのではないかとと思っている。

早く終わって欲しいと言うか、「早く証明書が欲しい。」と切実に思う。

最初の動機が、「マッサージ店開業の為に、終了証が欲しい。」というだけの理由なので、「自分でマッサージをうまくなって、人にしてあげたい。」などという気持ちがサラサラない為、こうなれば、「修了書をもらうことしか頭に無い。」

やはり、「マッサージは、される方が良いのであって、する方は、大変である。」

これ、最終結論かな？

-



誰がやるのか

2007,8,7



「誰がやるのか？」

「どこの課がやるのか？」

「誰の仕事か？」

タイで仕事をして、この質問を何度も聞かされてきた。

タイで仕事をする場合、とにかく仕事の範囲をしっかりとしなければならない。

面倒くさいので、「あなたがやって・・・」という回答をしたら大変。

「仕事が多い」

「私の範囲ではない」

と言い出す始末。

タイ語で、「チュアイ」という言葉がある。

助けると言う意味である。

表面的には、「チュアイ・ガン」と言い合う。

「助け合ってやろう。」ということである。

しかし、実際は、あくまで「助ける・補佐するだけ」であり、「責任を取る人ではない。」

自分の仕事が暇なら、「チュアイ」はOK。

しかし、本業と言うか、自分の仕事・責任にはしたくないという感じ。

日本に居た頃、そんなに「誰がやるんだ？」「誰の仕事だ？」って言ったことがあったかなーって思う。

でも、タイの常識に慣れてしまえば、非常に楽である。

責任の所在がはっきりするから・・・

しかし、問題は、誰もが、「責務は小さく、見返りは大きく」と思っていることである。

仕事しないが、給料は沢山欲しいということである。

でも、どこの国でも一緒だと思う。

日本でも、「給料泥棒」という言葉がある。

僕だって、日本に居た頃は、「サラリーマンは、いかに給料泥棒になるかが大切だ」と思っていたことがある。

そう、楽しんで沢山貰いたいと言う気持ちは、国は違えども、同じなのであろう。



家を予約する。

2007,8,2



家を予約してきた・・・と突然言われた。
しかも、風呂上り、「あっ、そう言えば・・・」という話の切り出しがた。
「何を冗談言って・・・」と言うのが、最初の段階で、徐々に話を聞くと、「マジかよー」

工場近くのタウンハウス(59万バーツ)の予約をしてきた・・・と。
30年ローンで、月に3900バーツだって・・・アホか=====
総支払金額は、倍以上である。
日本もそうかもしれないが、住宅ローンを20年や30年で組むというのは、タイでもポピュラー。

ダムさんの考え方も分かる。
家賃は、もったいないと思う。
事実、この田舎に生活して2年半ぐらい経つ。
月に‘3000バーツとして $3000 \times 12 \times 2.5 = 90,000$ バーツもの家賃を支払ったことになる。

ダムさんの頭では、今も、アパート代を払っているから、30年ローンの3900バーツを出し、それに自分がいくら出せば、すぐに返済可能なのではないか？ということ。

家は、広くていいと思う。
居間に台所に、寝室が2部屋あるそうだ。
しかし、部屋が広いということは、掃除も大変だということ。
アパートじゃないので、家具はすべて買い揃えなければいけないこと。

「分かっとるんかーーーー」と言いたいが、誰の名義でもない、ダムさんの名義だから、無関心でいようと思った。
今の家賃分だけ、払う。
後は、自分で何とかすればいいと思う。

ちなみに、今を生きるタイ人。
30年ローンで支払う総額は関係ない。
月々、3900バーツ払えれば、この家を買える。
ダムさん、まとまったお金を持っている。
しかし、それは頭金に入れないという。
せっかく貯めたお金だから・・・という気持ちは分かる。
しかし、預けている利息と、借りる利息を比べたら、当然、少しでも支払って、借入金の金額を少なくした方が得であると考えべきである。
しかし、説明しても、理解はするが、「このお金に手をつけたくない」と

手に入れたお金は絶対に離さない。
借りることに對して、身軽い。

でも、何とかなってしまう。
その何とかなるのは、何故だろう？と僕の方が悩んでしまう。



マッサージを勉強する

2007,8,1



タイ古式マッサージの学校が始まった。
 技術を身につけたいというか、「将来、開くであろう盲人マッサージの開業の為」である。
 60時間プライベートコースをパタヤの学校で受講することにした。
 休みの日を中心に10日間通わなければいけない。
 日本人専用?の学校は、バンコクには、数校存在するが、パタヤは皆無。
 まあ、マッサージの勉強をするのだから、タイ語でも・・・
 60時間 9000バーツというのは、プライベート料金としては、格安だと思う。

1日目は、半日学科、半日が実地。
 学科がたまげた・・・「タイ語で大丈夫」とやや自信があったが、特殊単語ばかり。
 脊髄・尾骨・肩甲骨・鎖骨・・・タイ語で何と言うか、分かるはずない。

取りあえず、教科書を読ませられるが、読むことは、可能だが、内容は、さっぱり分からない。
 先生が、「マイペンライ」というので、そんなもんかな---と思う。

午後から、マッサージの授業がはじまった。
 ここで、初めて分かる。
 マッサージをする方と、される方は、天と地との差だということを・・・

多分、姿勢も悪いのだろう。
 肩が凝る・腰は痛い。

後悔の気持ちが出てきた。
 証明書だけ欲しいのだから、バンコクで30時間のコースを選択すれば良かったかも。
 半分の苦勞で済んだのに-----って。

1日目で後悔したが、何とか3日間の講習終了。
 18時間終了したので、残り42時間。

内心、日本に帰らなければいけない理由ができたなら、タイ古式マッサージで生計を・・・と考えていた
 ことがあったが、完全に消去。

でもね、たった3日間で、足・手・横向きまで終了。
 最初、5日間で30時間という設定で「何が覚えられるんだ」と思ったが、
 かなりのことが覚えられるのではないかと思う。

【重要】CGIBOY日記帳 6月末サービス終了のお知らせ

[タレントプロフィール](#) | [ラッキーBINGO](#) | [楽天イーグルス](#) | [ツールバー](#) | [フリーメール](#) | [ニューストピックス](#)



